

調査結果の概要

I 学校調査

1 幼稚園

(1) 園数(表1, 2, 図1)

- ① 園数は148園(本園146園、分園2園)で、新設がなく、廃園が6園(本園6園、うち4園は幼保連携型認定こども園へ移行)となっており、前年度より6園減少している。
- ② 園数を設置者別にみると、国立1園、公立114園(市立85園、町立29園)、私立33園(学校法人立32園、個人立1園)となっている。
- ③ 全幼稚園のうち、国・公立の占める割合は77.7%である。なお、全国平均は36.8%となっている。

表1 幼稚園の設置者別園数

(単位：園)

区分	計	国立 (本園)	公立			私立	
			市立 本園	町立		学校 法人立 (本園)	個人立 (本園)
				本園	分園		
平成25年度	175	1	105	32	2	34	1
26	169	1	99	32	2	34	1
27	158	1	90	30	2	34	1
28	154	1	89	27	2	34	1
29	148	1	85	27	2	32	1

- ④ 在園者数から園の規模をみると、50人以下が63園(全幼稚園数の42.6%)、51~100人が47園(同31.8%)、101~150人が18園(同12.2%)等となっており、100人以下の幼稚園が全体の74.3%を占めている。

表2 幼稚園の在園者数別園数

(単位：園・%)

区分	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	総数	割合	国・公立	私立																
総数	175	100.0	140	35	169	100.0	134	35	158	100.0	123	35	154	100.0	119	35	148	100.0	115	33
50人以下	67	38.3	65	2	63	37.3	61	2	63	39.9	61	2	66	42.9	64	2	63	42.6	61	2
51~100	62	35.4	53	9	58	34.3	50	8	49	31.0	43	6	44	28.6	38	6	47	31.8	41	6
101~150	23	13.1	15	8	24	14.2	15	9	24	15.2	12	12	23	14.9	11	12	18	12.2	8	10
151~200	11	6.3	5	6	12	7.1	5	7	9	5.7	4	5	8	5.2	3	5	8	5.4	2	6
201~250	6	3.4	2	4	5	3.0	2	3	7	4.4	2	5	6	3.9	1	5	6	4.1	2	4
251~300	3	1.7	-	3	5	3.0	1	4	3	1.9	1	2	4	2.6	2	2	4	2.7	1	3
301人以上	3	1.7	-	3	2	1.2	-	2	3	1.9	-	3	3	1.9	-	3	2	1.4	-	2

- ⑤ 編制方式別でみると、3歳児と4歳児と5歳児で編制している園が130園、4歳児と5歳児で編制している園が9園、3歳児と4歳児で編制している園が2園、5歳児のみで編制している園が3園である。(休園中が4園)

(2) 学級数

- ① 学級数は639学級（国立5学級、公立383学級、私立251学級）で、前年度より69学級減少している。
- ② 1学級当たりの園児数は17.8人で、前年度より0.2人増加している。

(3) 在園者数(表3, 図2, 3, 4)

- ① 在園者数は11,348人（男5,796人、女5,552人）で、前年度より1,103人減少（男640人、女463人）している。

図1 幼稚園の編成方式別構成比

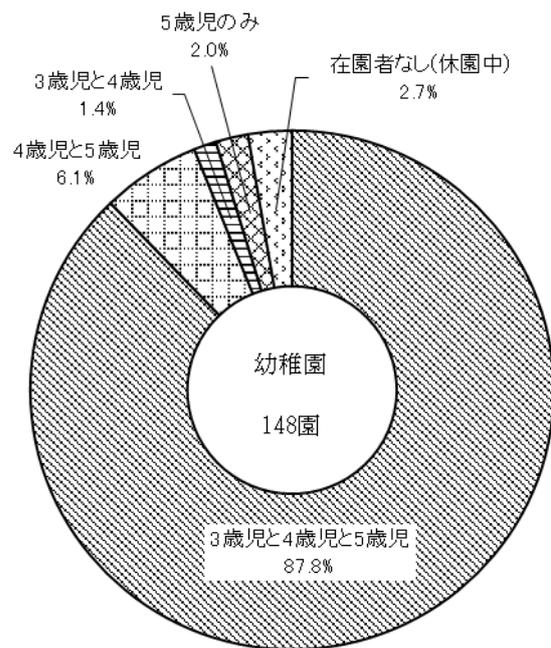
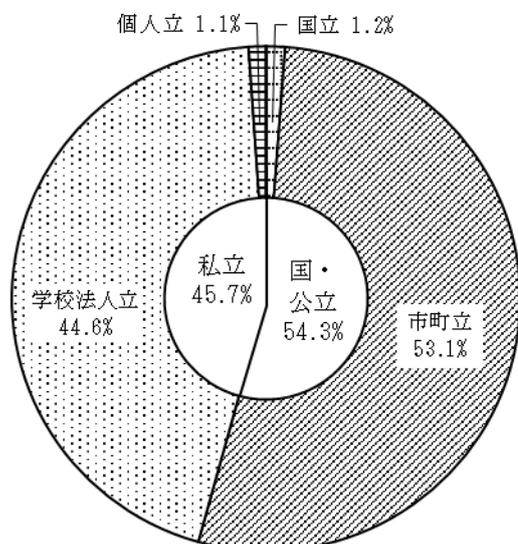


表3 幼稚園の年齢別在園者数及び修了者数

(単位：人)

区分	総数			3歳児		4歳児		5歳児		前年度修了者		
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女
平成25年度	14,177	7,192	6,985	2,119	2,097	2,500	2,426	2,573	2,462	5,151	2,620	2,531
26	13,887	7,057	6,830	2,099	1,997	2,386	2,361	2,572	2,472	5,045	2,575	2,470
27	13,157	6,746	6,411	2,036	1,932	2,314	2,148	2,396	2,331	5,028	2,569	2,459
28	12,451	6,436	6,015	1,891	1,814	2,243	2,079	2,302	2,122	4,749	2,417	2,332
29	11,348	5,796	5,552	1,714	1,663	1,920	1,879	2,162	2,010	4,443	2,315	2,128

図2 設置者別在園者数構成比



- ② 設置者別にみると、国立134人（全在園者数の1.2%）、公立6,025人（同53.1%）、私立5,189人（同45.7%）となっている。
- ③ 年齢別にみると、3歳児3,377人（全在園者数の29.8%）、4歳児3,799人（同33.5%）、5歳児4,172人（同36.8%）となっている。
- ④ 小学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者数の割合（就園率）は52.8%で、前年度より3.2ポイント低下している。なお、全国平均は46.7%で、本県は全国第11位となっている。

図3 幼稚園の就園率の推移

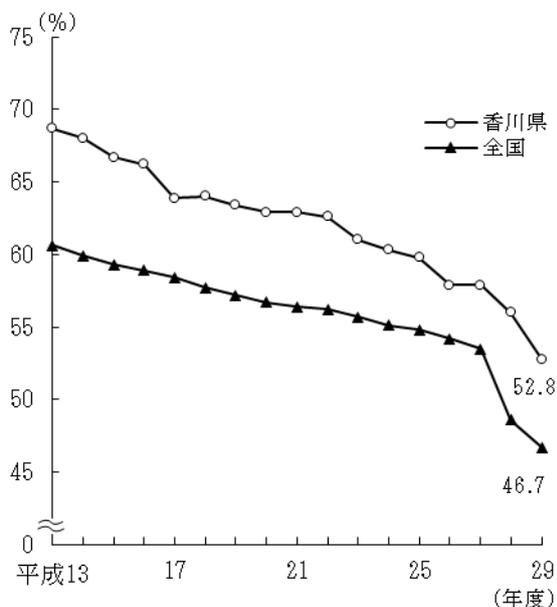
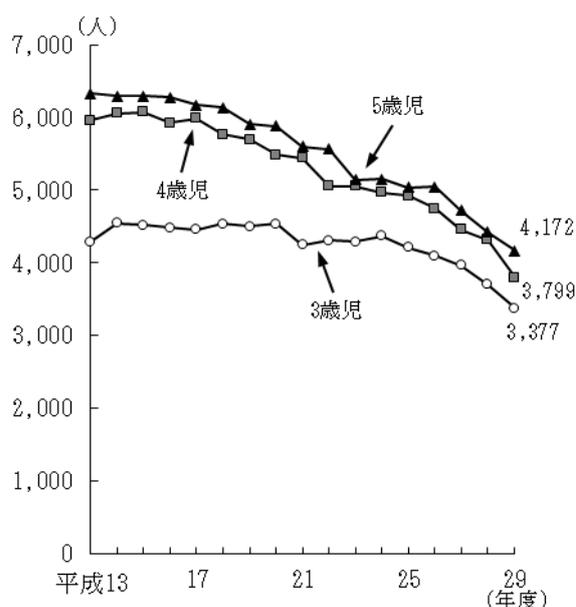


図4 幼稚園の年齢別在園者数の推移



(4) 教員数 (表4, 図5, 6)

- ① 教員数 (本務者) は1,072人 (国立8人、公立662人、私立402人) で、前年度より40人減少している。
- ② 教員数 (本務者) のうち、女性教員の占める割合は95.6%で、前年度より0.7ポイント低下している。
- ③ 本務教員一人当たりの園児数は10.6人で、前年度より0.6人減少している。なお、全国平均は13.0人で、前年度より0.4人減少している。

表4 幼稚園の職名別教員数 (本務者)

(単位: 人)

区分	総数			園長		副園長		教頭		主幹教諭	指導教諭	教諭		養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女			男	女				男	女
平成25年度	1,180	43	1,137	18	127	2	16	2	35	9	1	15	652	1	1	1	6	294
26	1,202	49	1,153	20	120	1	14	2	36	13	-	19	679	1	1	-	7	289
27	1,135	44	1,091	21	114	1	14	2	34	8	-	18	661	1	1	-	2	258
28	1,112	41	1,071	21	112	1	13	2	31	9	2	16	652	1	1	-	1	250
29	1,072	47	1,025	21	108	4	14	1	27	10	2	18	649	1	-	-	3	214

図5 幼稚園教員(本務者)1人当たり園児数

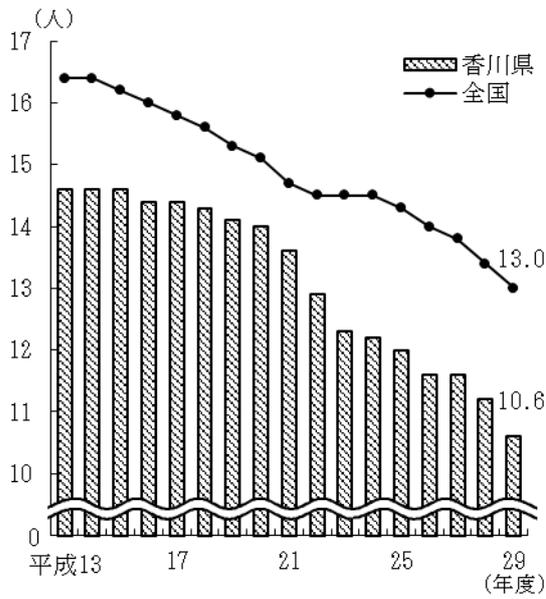
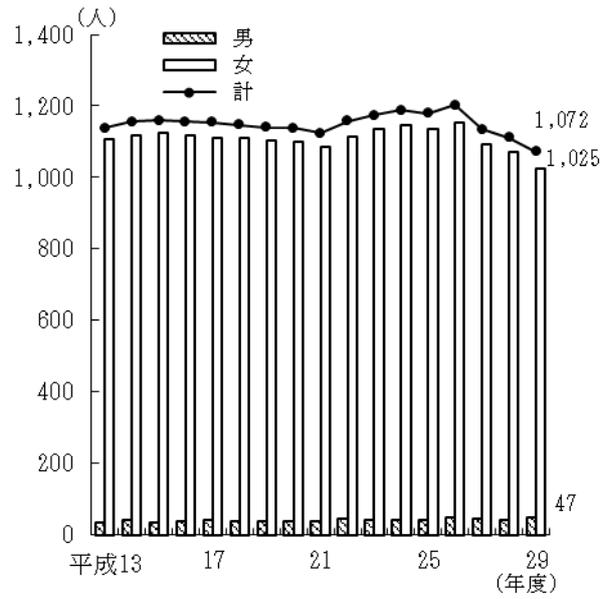


図6 幼稚園教員数(本務者)の推移



(5) 職 員 数 (表5)

① 職員数(本務者)は112人(国立1人、公立44人、私立67人)で、前年度と同数である。

表5 幼稚園の職名別職員数(本務者)

(単位:人)

区 分	総 数			事務職員		用務員・警備員 ・ そ の 他	
	計	男	女	男	女	男	女
平成25年度	115	39	76	10	24	29	52
26	122	37	85	11	30	26	55
27	125	37	88	10	36	27	52
28	112	36	76	12	33	24	43
29	112	32	80	10	36	22	44

2 幼保連携型認定こども園

(1) 園 数 (表 6, 7)

- ① 園数は25園（本園24園、分園1園）で、前年度より8園増加（幼稚園から移行が4園、保育所から移行が4園）している。
- ② 園数を設置者別にみると、公立16園（市立11園、町立5園）、私立9園（学校法人立3園、社会福祉法人立6園）となっている。
- ③ 全園数のうち、公立の占める割合は64.0%である。なお、全国平均は15.0%となっている。

表 6 幼保連携型認定こども園の設置者別園数

(単位：園)

区 分	計	公 立				私 立			
		市 立		町 立		学校法人立		社会福祉法人立	
		本 園	分 園	本 園	分 園	本 園	分 園	本 園	分 園
平成27年度	11	6	-	1	-	1	-	2	1
28	17	8	-	5	-	1	-	2	1
29	25	11	-	5	-	3	-	5	1

- ④ 3歳児～5歳児の在園者数から園の規模をみると、50人以下が4園（全幼稚園数の16.0%）、51～100人が12園（同48.0%）、101～150人が6園（同24.0%）等となっており、100人以下の園が全体の64.0%を占めている。

表 7 幼保連携型認定こども園の在園者数別園数

(単位：園・%)

区 分	平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	総数	割合	公立	私立	総数	割合	公立	私立	総数	割合	公立	私立
総 数	11	100.0	7	4	17	100.0	13	4	25	100.0	16	9
50人以下	4	36.4	1	3	4	23.5	2	2	4	16.0	2	2
51～100	5	45.5	4	1	8	47.1	6	2	12	48.0	6	6
101～150	1	9.1	1	-	4	23.5	4	-	6	24.0	6	-
151～200	1	9.1	1	-	1	5.9	1	-	2	8.0	2	-
201人以上	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4.0	-	1

- ⑤ 編制方式別でみると、3歳児と4歳児と5歳児で編制している園が24園である。（1園は3歳児～5歳児が不在）

(2) 学 級 数

- ① 学級数は117学級（公立74学級、私立43学級）となっており、前年度より52学級増加している。
- ② 1学級当たりの3歳～5歳の園児数は20.9人で、前年度と同数である。

(3) 在園者数(表8, 図7)

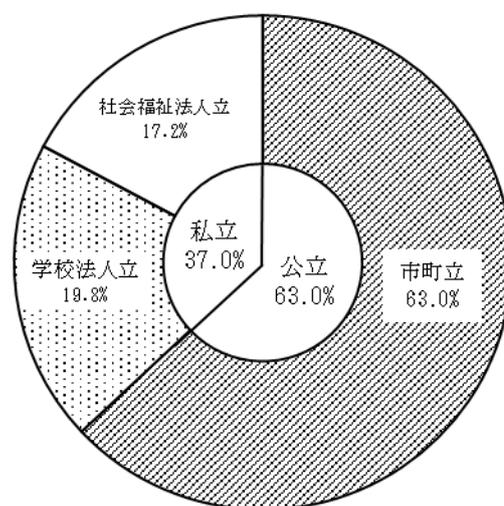
① 在園者数は3,338人(男1,736人、女1,602人)で、前年度より1,393人増加(男725人、女668人)している。

表8 幼保連携型認定こども園の年齢別在園者数

区分	(単位:人)														
	総数			0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成27年度	1,221	604	617	26	20	80	73	107	93	123	154	139	137	129	140
28	1,945	1,011	934	33	43	116	122	164	107	255	219	209	224	234	219
29	3,338	1,736	1,602	54	53	192	177	214	204	441	370	466	410	369	388

図7 設置者別在園者数構成比

- ② 設置者別にみると、公立2,103人(全在園者数の63.0%)、私立1,235人(同37.0%)となっている。
- ③ 年齢別にみると、0歳児107人(全在園者数の3.2%)、1歳児369人(同11.1%)、2歳児418人(同12.5%)、3歳児811人(同24.3%)、4歳児876人(同26.2%)、5歳児757人(同22.7%)となっている。



(4) 教育・保育職員数(表9)

- ① 教育・保育職員数(本務者)は490人(公立321人、私立169人)で、前年度より175人増加している。
- ② 教育・保育職員数(本務者)のうち、女性教員の占める割合は95.1%で、前年度より0.8ポイント増加している。
- ③ 本務教育・保育職員一人当たりの園児数(0~5歳児)は6.8人で前年度より0.6人増加している。なお、全国平均は6.7人である。

表9 幼保連携型認定こども園の職名別教育・保育職員数(本務者)

区分	(単位:人)																						
	総数			園長		副園長		教頭		主幹保育教諭		主幹指導教諭		保育教諭		助保育教諭		養護教諭		栄養教諭		講師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成27年度	208	14	194	1	9	-	9	-	-	1	4	-	-	11	118	-	2	-	1	1	51		
28	315	18	297	2	14	-	16	-	-	1	6	-	-	13	177	-	5	-	1	2	78		
29	490	24	466	4	19	-	21	1	-	1	13	-	1	18	283	-	6	1	5	-	117		

(5) 職 員 数 (表 10)

① 職員数(本務者)は76人(公58人、私立18人)で、前年度より20人増加している。

表10 幼保連携型認定こども園の職名別職員数(本務者)

(単位:人)

区 分	総 数			事務職員		養護職員 (看護師等)		調理員		用務員 ・警備員 ・その他	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成27年度	35	3	32	2	1	-	1	-	29	1	1
28	56	4	52	1	3	-	1	-	43	3	5
29	76	6	70	2	5	-	2	-	57	4	6

3 小 学 校

(1) 学 校 数 (表 11, 12, 13)

- ① 学校数は166校（本校164校、分校2校）で、新設がなく、廃校が1校（本校1校）となっており、前年度より1校減少している。
- ② 学校数を設置者別にみると、国立2校、公立164校（市立133校、町立31校）となっており、前年度より公立が1校減少している。

表11 小学校の設置者別学校数

(単位：校)

区 分	総 数			国立 (本校)	公 立					(再掲) 公立小学校 へき地等の指定学校		
	計	本校	分校		計	市 立		町 立		計	本校	分校
						本校	分校	本校	分校			
平成25年度	184	182	2	2	182	146	2	34	-	19	17	2
26	179	177	2	2	177	141	2	34	-	17	15	2
27	170	169	1	2	168	136	1	31	-	14	13	1
28	167	165	2	2	165	132	2	31	-	14	13	1
29	166	164	2	2	164	131	2	31	-	14	13	1

- ③ 公立校のうち、へき地等指定学校は14校で、前年度と同数である。全公立校に占める割合は8.5%である。

表12 小学校(公立)のへき地等指定学校の学校数・児童数及び教職員数

(単位：校・人)

区 分	学 校 数			児 童 数			教員数 (本務者)			負担法による事務 職員数 (本務者)		
	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校
総 数	14	13	1	489	489	-	77	77	-	5	5	-
特 別 地	2	2	-	317	317	-	35	35	-	2	2	-
準へき地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 級	7	6	1	156	156	-	27	27	-	3	3	-
2 級	3	3	-	6	6	-	6	6	-	-	-	-
3 級	1	1	-	9	9	-	6	6	-	-	-	-
4 級	1	1	-	1	1	-	3	3	-	-	-	-
5 級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：へき地性は、特別地、準へき地、1級、2級・・・となるにつれて強くなる。

- ④ 特別支援学級を置く学校は151校(本校)で、全学校数に占める割合は91.0%となっている。
- ⑤ 学校の規模(本校のみ)を学級数で見ると、11学級以下の小規模校は73校(本校数の44.5%)、次いで12~18学級の標準校46校(同28.0%)、19学級以上の大規模校45校(同27.4%)となっている。また、県内の大規模校のうち、60.0%は高松市にある。

表13 小学校の規模別学校数（本校のみ）

(単位:校・%)

区 分	総 数		規 模 別 区 分							
			11学級以下		12～18学級		19～24学級		25学級以上	
	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合
平成25年度	182	100.0	92	50.5	45	24.7	27	14.8	18	9.9
26	177	100.0	83	46.9	49	27.7	29	16.4	16	9.0
27	169	100.0	76	45.0	47	27.8	27	16.0	19	11.2
28	165	100.0	72	43.6	49	29.7	26	15.8	18	10.9
29	164	100.0	73	44.5	46	28.0	29	17.7	16	9.8

(2) 学 級 数 (表 14)

- ① 学級数は2,333学級で、前年度より2学級減少している。
- ② 学級数を編制方式別にみると、単式学級1,896学級（全学級数の81.3%）、複式学級8学級（同0.3%）、特別支援学級429学級（同18.4%）となっており、前年度より単式学級で12学級減少、複式学級で1学級増加、特別支援学級で9学級増加している。
- ③ 1学級当たりの児童数は22.1人で、前年度より0.2人減少している。

表14 小学校の編制方式別学級数

(単位:学級・%)

区 分	総 数		単式学級		複式学級		特別支援学級	
	学級数	割合	学級数	割合	学級数	割合	学級数	割合
平成25年度	2,427	100.0	2,008	82.7	12	0.5	407	16.8
26	2,393	100.0	1,977	82.6	13	0.5	403	16.8
27	2,365	100.0	1,945	82.2	11	0.5	409	17.3
28	2,335	100.0	1,908	81.7	7	0.3	420	18.0
29	2,333	100.0	1,896	81.3	8	0.3	429	18.4

(3) 児 童 数 (図 8, 表 15, 16, 17)

- ① 児童数は51,458人（男26,303人、女25,155人）で、前年度より630人減少（男216人、女414人）している。児童数は昭和58年度以降減少傾向が続き、本年度は過去最低を更新した。
- ② 小学校第1学年の児童数は、8,418人（男4,393人、女4,025人）で、前年度より65人減少（男51人増加、女116人減少）している。

図 8 小学校の推移

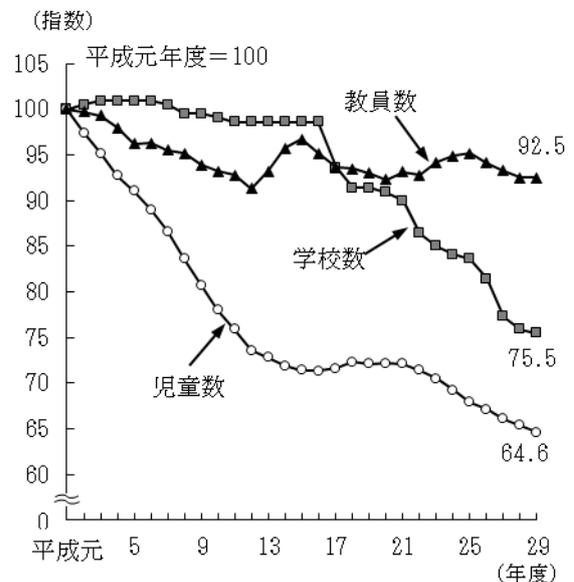


表15 小学校の児童数

(単位:人)

区 分	総 数			1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
	計	国立	公立						
平成25年度	54,116	1,097	53,019	8,618	8,592	9,079	9,058	9,399	9,370
26	53,422	1,067	52,355	8,709	8,612	8,623	9,069	9,017	9,392
27	52,635	1,059	51,576	8,678	8,714	8,605	8,603	9,042	8,993
28	52,088	1,042	51,046	8,483	8,671	8,693	8,618	8,609	9,014
29	51,458	1,022	50,436	8,418	8,462	8,708	8,663	8,627	8,580
内訳 男	26,303	524	25,779	4,393	4,327	4,469	4,472	4,359	4,283
女	25,155	498	24,657	4,025	4,135	4,239	4,191	4,268	4,297

③ 編制方式別にみると、単式学級の児童が50,063人で、全児童数に占める割合は97.3%となっている。

表16 小学校の編制方式別児童数

(単位:人・%)

区 分	総 数		単式学級		複式学級		特別支援学級	
	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合
平成25年度	54,116	100.0	52,993	97.9	66	0.1	1,057	2.0
26	53,422	100.0	52,244	97.8	71	0.1	1,107	2.1
27	52,635	100.0	51,402	97.7	56	0.1	1,177	2.2
28	52,088	100.0	50,792	97.5	36	0.1	1,260	2.4
29	51,458	100.0	50,063	97.3	31	0.1	1,364	2.7

④ 特別支援学級の児童数は1,364人で、前年度より104人増加している。この内訳は、情緒障害が649人(特別支援学級全児童数の47.6%)、知的障害が588人(同43.1%)等となっている。

表17 小学校の種類別特別支援学級児童数

(単位:人・%)

区 分	総 数		知的障害		肢体不自由		病 弱・ 身体虚弱		弱 視		難 聴		情緒障害	
	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合
平成25年度	1,057	100.0	510	48.2	59	5.6	39	3.7	9	0.9	27	2.6	413	39.1
26	1,107	100.0	510	46.1	48	4.3	43	3.9	7	0.6	28	2.5	471	42.5
27	1,177	100.0	528	44.9	39	3.3	50	4.2	9	0.8	29	2.5	522	44.4
28	1,260	100.0	547	43.4	39	3.1	56	4.4	12	1.0	23	1.8	583	46.3
29	1,364	100.0	588	43.1	40	2.9	57	4.2	6	0.4	24	1.8	649	47.6

⑤ 外国人児童数は187人で、前年度より9人増加している。

⑥ 帰国児童数は11人で、前年度より8人減少している。

(4) 教 員 数 (表 18, 図 9, 10, 11)

① 教員数(本務者)は3,599人(男1,207人、女2,392人)で、前年度より1人増加(男2人増加、女1人減少)している。

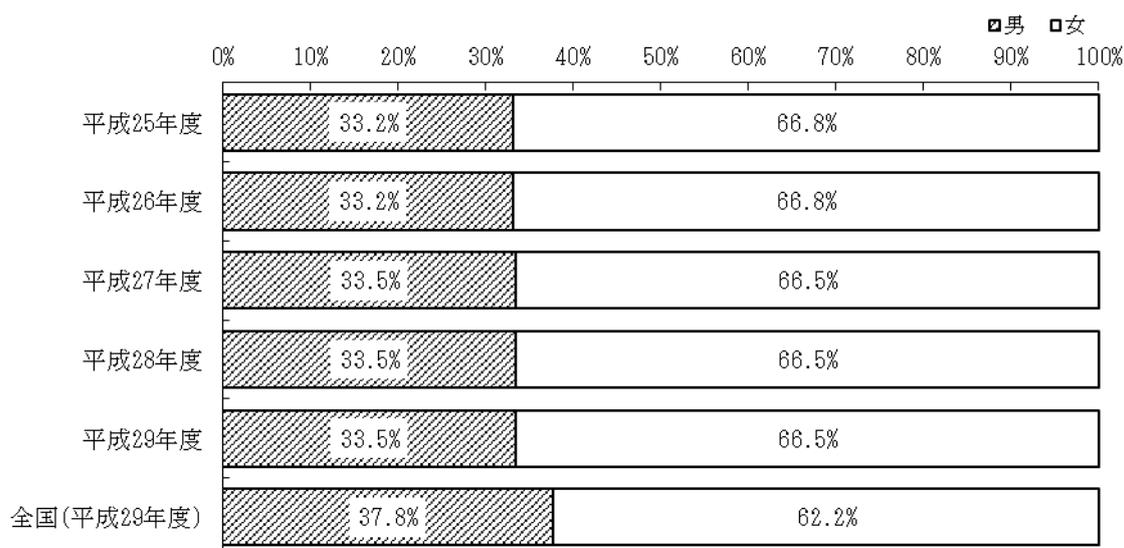
表18 小学校の職名別教員数(本務者)

(単位:人)

区 分	総 数			校 長		副校長		教 頭		主幹教諭		指導教諭		教 諭		養護教諭	養護助教諭	栄養教諭		講 師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	男	女	男	女
平成25年度	3,705	1,230	2,475	145	27	1	1	158	55	11	1	2	23	832	1,866	162	37	3	53	78	250
26	3,663	1,217	2,446	142	27	1	1	159	48	9	2	2	27	827	1,849	161	37	2	50	75	244
27	3,631	1,218	2,413	133	28	2	-	152	48	9	2	2	32	826	1,809	163	28	3	49	91	254
28	3,598	1,205	2,393	130	26	-	1	145	52	10	1	2	34	816	1,805	159	31	3	46	99	238
29	3,599	1,207	2,392	130	26	-	1	142	55	9	2	3	38	819	1,781	160	30	3	48	101	251

② 教員数(本務者)のうち、女性教員の占める割合は66.5%で前年度と同値である。また、全国平均は62.2%で、女性教員の占める割合で本県は全国第5位となっている。

図 9 小学校本務教員の男女比率



③ 本務教員1人当たりの児童数は14.3人で、前年度より0.2人減少している。また、全国平均は15.4人となっている。

図10 小学校教員(本務者)1人当たり児童数

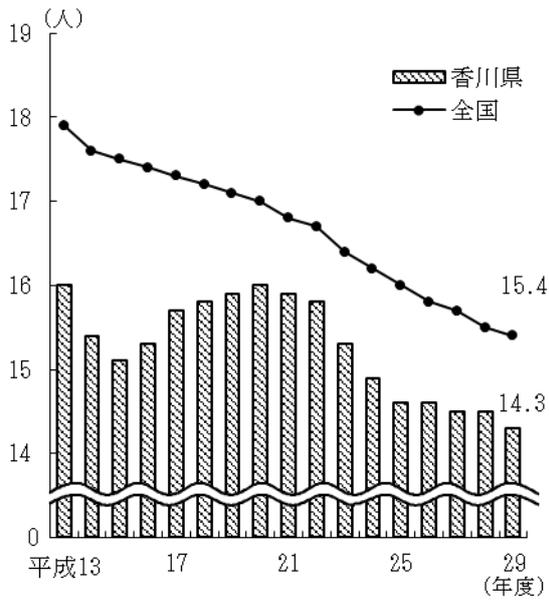
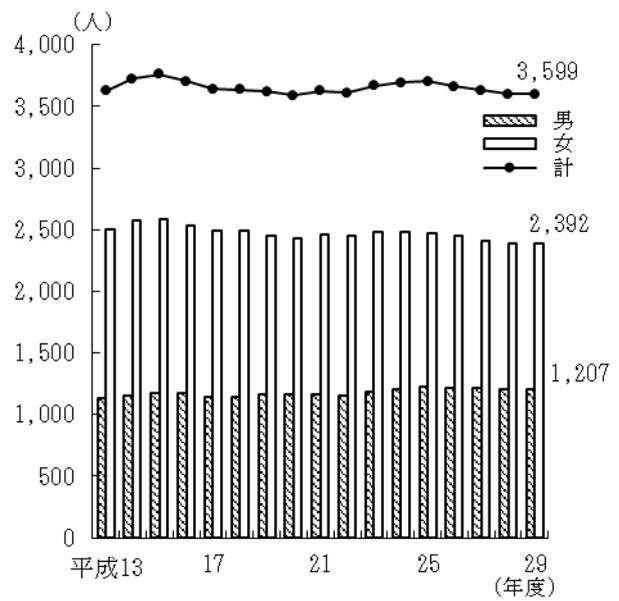


図11 小学校教員数(本務者)の推移



(5) 職 員 数 (表19)

① 職員数(本務者)は620人(男101人、女519人)で、前年度より29人減少(男5人、女24人)している。

表19 小学校の職名別職員数(本務者)

(単位:人)

区 分	総 数		負担法による者						そ の 他 の 者										
			事務職員		学校栄養職員		18表以外の教員		事務職員		学 校 図 書 館 事 務 員		学 校 給 食 調 理 従 事 員		用 務 員		警 備 員 ・ そ の 他		
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
平成25年度	638	113	525	20	173	2	9	11	39	2	7	1	3	35	134	34	99	8	61
26	605	106	499	16	172	-	11	10	18	2	8	1	3	36	124	34	93	7	70
27	619	109	510	15	171	-	11	12	29	2	8	1	3	37	125	32	86	10	77
28	649	106	543	15	168	-	8	12	33	2	11	1	16	38	114	27	86	11	107
29	620	101	519	19	167	-	6	10	33	2	15	1	17	36	117	26	77	7	87

注:「負担法による者」とは、市町村立学校職員給与負担法により都道府県費から給与が支給されている者をいう。

「18表以外の教員」とは、教員として発令されているが、関係諸法令に定める条件を満たさず市町村費により給与が支給されている者をいう。

4 中 学 校

(1) 学 校 数 (表 20, 21, 22)

- ① 学校数は77校（本校76校、分校1校）で、新設及び廃校はなく、前年度と同数である。
- ② 学校数を設置者別にみると、国立2校、公立70校（県立1校、市立57校、町立11校、組合立1校）、私立5校となっており、前年度と同じ構成である。

表20 中学校の設置者別学校数

(単位：校)

区 分	総 数			国立 (本校)	公 立						私立 (本校)	(再掲)公立中学校 へき地等の指定学校			
					計	県立 (本校)	市 立		町 立			組合立 (本校)	計	本校	分校
	本校	分校	本校				分校								
平成25年度	81	81	-	2	74	1	59	-	13	-	1	5	11	11	-
26	79	79	-	2	72	1	58	-	12	-	1	5	9	9	-
27	77	77	-	2	70	1	56	-	12	-	1	5	9	9	-
28	77	76	1	2	70	1	56	1	11	-	1	5	10	10	-
29	77	76	1	2	70	1	56	1	11	-	1	5	10	10	-

- ③ 公立校のうち、へき地等指定学校は10校で、前年度と同数である。全公立校に占める割合は14.3%であり、前年度と同数である。

表21 中学校(公立)のへき地等指定学校の学校数・生徒数及び教職員数

(単位：校・人)

区 分	学 校 数			生 徒 数			教 員 数 (本 務 者)			負担法による事務 職員数 (本務者)		
	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校
総 数	10	10	-	384	384	-	78	78	-	4	4	-
特 別 地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準へき地	1	1	-	301	301	-	31	31	-	1	1	-
1 級	5	5	-	74	74	-	37	37	-	2	2	-
2 級	2	2	-	3	3	-	4	4	-	-	-	-
3 級	1	1	-	6	6	-	6	6	-	1	1	-
4 級	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：へき地性は、特別地、準へき地、1級、2級・・・となるにつれて強くなる。

- ④ 特別支援学級を置く学校は59校(本校)で、全学校数に占める割合は76.6%となっている。
- ⑤ 学校の規模(本校のみ)を学級数で見ると、11学級以下の小規模校は30校(本校数の39.5%)、12~18学級の標準校26校(同34.2%)、19学級以上の大規模校20校(同26.3%)となっている。また、県内の大規模校のうち、65.0%は高松市にある。

表 22 中学校の規模別学校数（本校のみ）

(単位:校・%)

区 分	総 数		規 模 別 区 分							
			5 学級以下		6～11学級		12～18学級		19学級以上	
	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合
平成25年度	81	100.0	19	23.5	18	22.2	27	33.3	17	21.0
26	79	100.0	16	20.3	17	21.5	28	35.4	18	22.8
27	77	100.0	16	20.8	15	19.5	25	32.5	21	27.3
28	76	100.0	14	18.4	16	21.1	24	31.6	22	28.9
29	76	100.0	13	17.1	17	22.4	26	34.2	20	26.3

(2) 学 級 数 (表 23)

- ① 学級数は1,012学級で、前年度と同数である。
- ② 学級数を編制方式別にみると、単式学級842学級（全学級数の83.2%）、複式学級2学級（同0.2%）、特別支援学級168学級（同16.6%）となっており、前年度より単式学級では13学級減少、複式学級は2学級増加、特別支援学級は11学級増加している。
- ③ 1学級当たりの生徒数は26.9人で、前年度より0.3人減少している。

表 23 中学校の編制方式別学級数

(単位:学級・%)

区 分	総 数		単式学級		複式学級		特別支援学級	
	学級数	割合	学級数	割合	学級数	割合	学級数	割合
平成25年度	1,005	100.0	857	85.3	-	-	148	14.7
26	1,008	100.0	850	84.3	-	-	158	15.7
27	1,032	100.0	864	83.7	-	-	168	16.3
28	1,012	100.0	855	84.5	-	-	157	15.5
29	1,012	100.0	842	83.2	2	0.2	168	16.6

(3) 生 徒 数 (図 12, 表 24, 25)

- ① 生徒数は27,215人（男13,936人、女13,279人）で、前年度より326人減少（男169人、女157人）している。生徒数は昭和63年度以降減少傾向が続き、平成22年度に過去最低となった後、3年連続で増加したが、平成26年度から減少している。
- ② 中学校第1学年の生徒数は、8,953人（男4,551人、女4,402人）で、前年度より4人増加（男26人減少、女30人増加）している。

図 12 中学校の推移

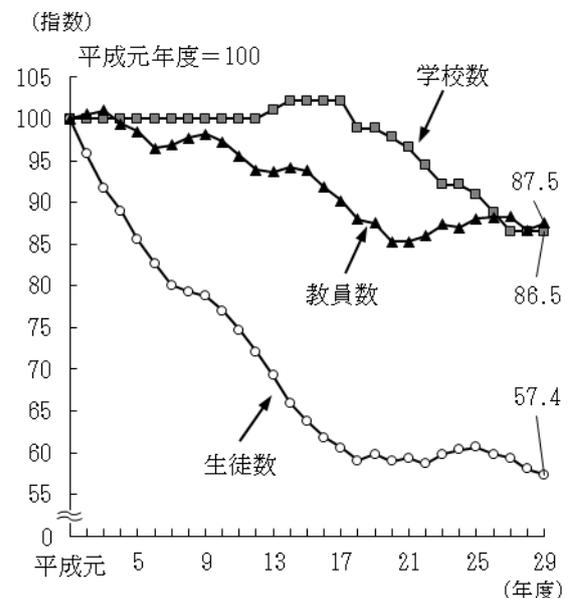


表24 中学校の生徒数

(単位:人)

区 分	総 数				1 学年	2 学年	3 学年
	計	国立	公立	私立			
平成25年度	28,779	721	27,114	944	9,595	9,516	9,668
26	28,371	722	26,714	935	9,281	9,577	9,513
27	28,188	718	26,586	884	9,327	9,288	9,573
28	27,541	718	25,935	888	8,949	9,317	9,275
29	27,215	719	25,596	900	8,953	8,949	9,313
内訳 男	13,936	377	13,093	466	4,551	4,577	4,808
女	13,279	342	12,503	434	4,402	4,372	4,505

③ 編制方式別生徒数をみると、単式学級の生徒数は26,749人で、全生徒数に占める割合は98.3%となっている。

④ 特別支援学級の生徒数は462人で、前年度より38人増加している。この内訳をみると、知的障害が218人（特別支援学級全生徒数の47.2%）、情緒障害184人（同39.8%）等となっている。

表25 中学校の種類別特別支援学級生徒数

(単位:人・%)

区 分	総 数		知的障害		肢体不自由		病 弱・ 身体虚弱		弱 視		難 聴		情緒障害	
	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合
平成25年度	389	100.0	201	51.7	16	4.1	11	2.8	4	1.0	9	2.3	148	38.0
26	430	100.0	207	48.1	23	5.3	16	3.7	3	0.7	7	1.6	174	40.5
27	463	100.0	206	44.5	23	5.0	22	4.8	4	0.9	10	2.2	198	42.8
28	424	100.0	205	48.3	24	5.7	18	4.2	2	0.5	9	2.1	166	39.2
29	462	100.0	218	47.2	19	4.1	24	5.2	6	1.3	11	2.4	184	39.8

⑤ 外国人生徒数は90人で、前年度より13人増加している。

⑥ 帰国生徒数は7人で、前年度より1人増加している。

(4) 教 員 数 (表 26, 図 13, 14, 15)

① 教員数（本務者）は2,165人（男1,120人、女1,045人）で、前年度より20人増加（男19人、女1人）している。

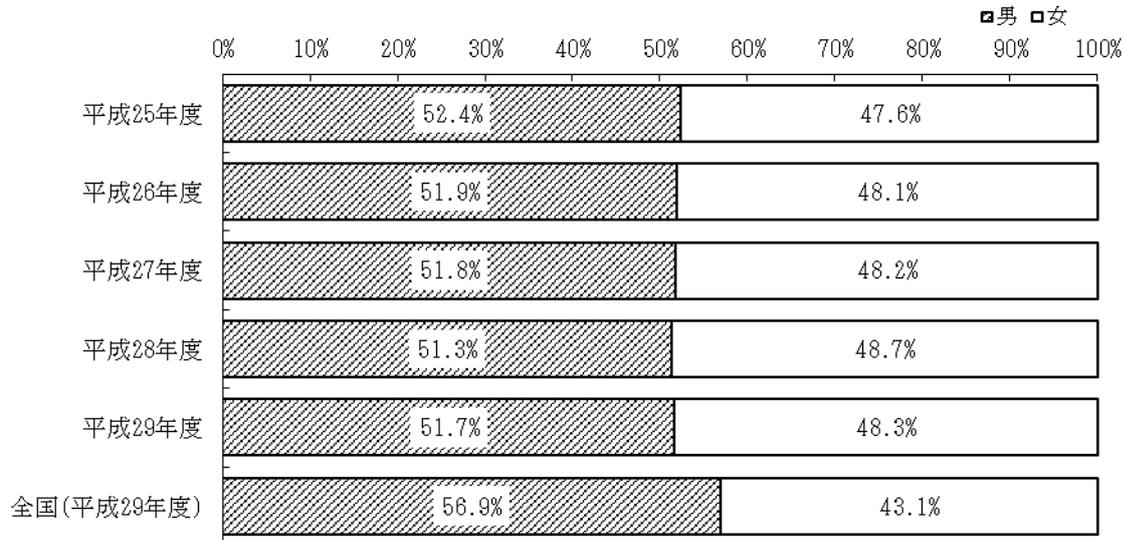
② 教員数（本務者）のうち、女性教員の占める割合は48.3%で、前年度より0.4ポイント低下している。また、全国平均は43.1%で、女性教員の占める割合で本県は全国第5位となっている。

表26 中学校の職名別教員数（本務者）

(単位:人)

区 分	総 数			校 長		副校長		教 頭		主幹教諭		指導教諭		教 諭		養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	栄 誉 教 諭	養 護 講 師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	女	男	女
平成25年度	2,179	1,141	1,038	67	1	2	-	112	9	7	-	8	13	859	799	66	10	22	86	118
26	2,183	1,133	1,050	67	1	2	-	109	12	7	-	10	14	850	813	67	11	22	88	110
27	2,184	1,131	1,053	65	1	2	-	106	13	6	1	10	15	860	822	65	12	24	82	100
28	2,145	1,101	1,044	62	2	4	-	102	15	7	-	10	17	852	837	68	11	21	64	73
29	2,165	1,120	1,045	62	2	4	-	101	16	7	-	10	18	844	821	69	14	23	92	82

図13 中学校本務教員の男女比率



③ 本務教員1人当たりの生徒数は12.6人で、前年度より0.2人減少している。また、全国平均は13.3人となっている。

図14 中学校教員(本務者)1人当たり生徒数

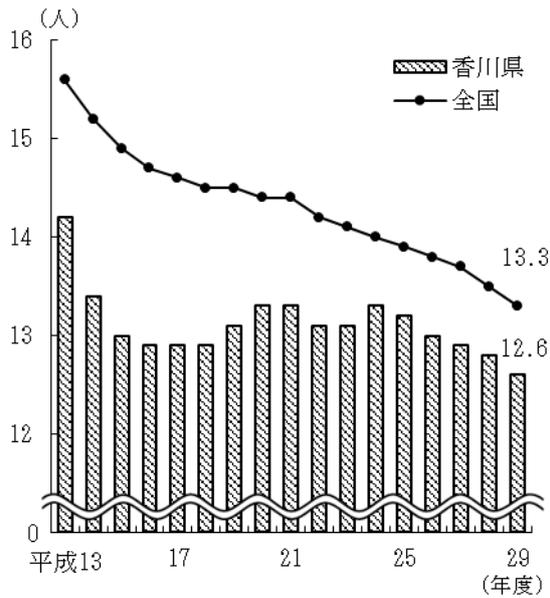
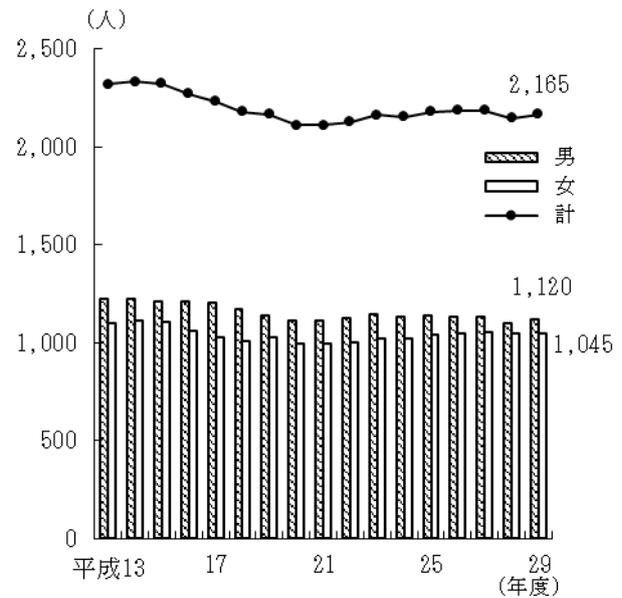


図15 中学校教員数(本務者)の推移



(5) 職 員 数 (表 27)

① 職員数(本務者)は286人(男79人、女207人)で、前年度より23人減少(男7人、女16人)している。

表27 中学校の職名別職員数(本務者)

(単位:人)

区 分	総 数			負担法による者						そ の 他 の 者											
				事務職員		学校栄養員		26表以外の教員		事務職員		学 校 学 校 学 校 学 校	学 校 給 食	用 務 員		警 備 員					
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成25年度	291	73	218	7	77	1	6	13	14	3	20	-	1	-	-	12	49	21	38	16	13
26	293	85	208	13	70	1	6	13	11	3	20	-	2	-	-	12	48	24	35	19	16
27	271	80	191	14	68	-	5	11	15	3	22	-	2	-	-	10	35	23	31	19	13
28	309	86	223	11	70	-	8	22	18	4	23	-	4	-	1	8	42	23	29	18	28
29	286	79	207	11	71	-	7	13	15	3	23	1	4	-	1	9	42	23	24	19	20

注:「負担法による者」とは、市町村立学校職員給与負担法により都道府県費から給与が支給されている者をいう。

「26表以外の教員」とは、教員として発令されているが、関係諸法令に定める条件を満たさず市町村費により給与が支給されている者をいう。

5 高等学校

(1) 学 校 数 (表 28, 29, 図 16)

- ① 学校数は40校（本校40校）で、新設校が2校（本校2校）、廃校が4校（本校4校）となっており、前年度より2校減少している。
- ② 学校数を設置者別にみると、公立30校（県立29校、市立1校）、私立10校となっており、前年度より公立が2校減少している。

表28 高等学校の設置者別学校数

(単位：校)

区 分	総 数			公 立			私 立 (本校)	
				計	県 立			市 立 (本校)
	計	本 校	分 校					
平成25年度	42	42	-	32	31	-	1	10
26	42	42	-	32	31	-	1	10
27	42	42	-	32	31	-	1	10
28	42	42	-	32	31	-	1	10
29	40	40	-	30	29	-	1	10

- ③ 学校数を課程別にみると、全日制課程のみの学校31校（県立20校、市立1校、私立10校）、全日制・定時制の両課程を併置している学校9校（全て県立）となっている。
- ④ 学校の規模を生徒数でみると、全日制課程の学校40校（定時制課程併置校については全日制課程のみを対象）のうち、500人以下は13課程、501～1,000人は26課程、1,001人以上は1課程となっている。
- ⑤ 定時制課程の学校9校（全日制課程に併置されている学校において、定時制課程のみを対象）では、1～50人が5課程、51～100人が4課程となっている。
- ⑥ 学校数を配置されている学科数でみると、単独校（1学科のみの学校）18校、総合校（2学科以上の学校）22校となっている。
- ⑦ 単独校では、普通科の学校が16校で一番多く、農業科、工業科がそれぞれ1校となっている。
- ⑧ 総合校では、普通科と職業科1学科を併置している学校が9校、職業科のみ2学科以上の学校7校、普通科と職業科2学科以上を併置している学校3校、職業科1学科と総合学科を併置している学校2校、普通科と職業科1学科と総合学科を併置している学校1校となっている。
- ⑨ 男女共学別では、全ての学校で共学となっている。
- ⑩ 専攻科のある学校は5校（公立3校、私立2校）となっている。

図 16 単独・総合校数構成比

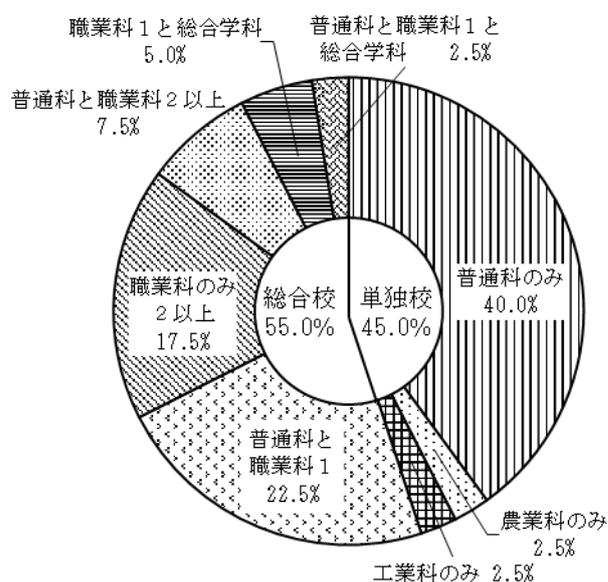


表29 高等学校の単独・総合別学校数

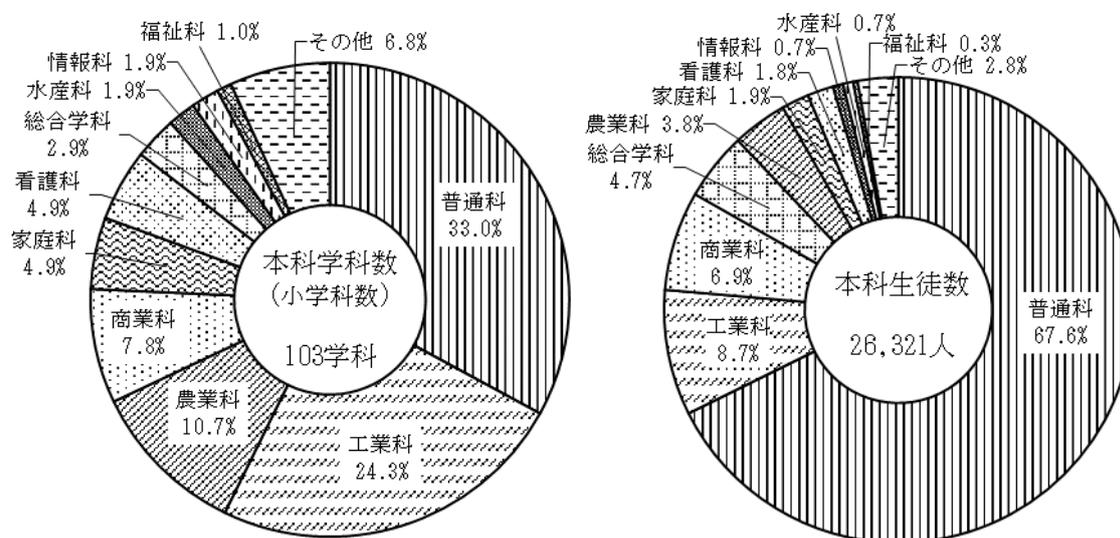
(単位：校)

区 分	総数	単 独 校					総 合 校								
		計	普通科		農業	工業	総合	計	普通科と職業科1		普通科と職業科2以上	職業科2以上	普通科と職業科1と総合学科	職業科1と総合学科	
			公立	私立	公立	公立	公立		公立	私立	公立	私立	公立	公立	公立
平成25年度	42	21	13	4	1	2	1	21	5	4	1	2	7	1	1
26	42	21	13	4	1	2	1	21	5	4	1	2	7	1	1
27	42	21	13	4	1	2	1	21	5	4	1	2	7	1	1
28	42	21	13	4	1	2	1	21	5	4	1	2	7	1	1
29	40	18	12	4	1	1	-	22	5	4	1	2	7	1	2

(2) 学 科 数 (図17)

- ① 学科数(本科小学科数)は103学科(全日制91学科、定時制12学科)で、前年度より2学科減少(全日制1学科、定時制1学科)している。
- ② 学科別にみると、普通科34学科(全学科数の33.0%)が最も多く、次いで工業に関する学科25学科(同24.3%)、農業に関する学科11学科(同10.7%)、商業に関する学科8学科(同7.8%)、家庭に関する学科、看護に関する学科がそれぞれ5学科(同4.9%)、総合学科3学科(同2.9%)、水産に関する学科、情報に関する学科がそれぞれ2学科(同1.9%)、福祉に関する学科1学科(同1.0%)、その他7学科(同6.8%)となっている。

図17 高等学校(本科)の学科数及び学科別生徒数の構成比



(3) 生 徒 数 (表30,31, 図17)

- ① 生徒数は26,587人(男13,266人、女13,321人)で、前年度より253人減少(男149人、女104人)している。生徒数は平成3年度以降減少傾向にある中、平成26年度から3年連続で増加していたところであるが、今年度は減少となった。

また、全生徒のうち、本科の生徒数は26,321人、専攻科の生徒数は266人となっている。

- ② 全日制課程の生徒数は26,173人で、前年度より258人減少している。
また、定時制課程の生徒数は414人で、前年度より5人増加している。

表30 高等学校の学年別生徒数

(単位：人)

区 分	総 数						(再掲) うち全日制				
	計	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	専攻科	計	1 学年	2 学年	3 学年	専攻科
平成25年度	25,983	8,956	8,505	8,203	83	236	25,574	8,843	8,393	8,102	236
26	26,472	9,094	8,710	8,322	76	270	26,083	8,985	8,611	8,217	270
27	26,762	8,945	8,887	8,576	80	274	26,377	8,841	8,776	8,486	274
28	26,840	8,997	8,792	8,723	74	254	26,431	8,874	8,685	8,618	254
29	26,587	8,719	8,853	8,664	85	266	26,173	8,598	8,744	8,565	266

- ③ 本科の生徒数を学科別にみると、普通科17,783人(本科の生徒数の67.6%)、工業に関する学科2,303人(同8.7%)、商業に関する学科1,819人(同6.9%)、総合学科1,244人(同4.7%)、農業に関する学科988人(同3.8%)、家庭に関する学科509人(同1.9%)、看護に関する学科467人(同1.8%)、情報に関する学科194人(同0.7%)、水産に関する学科179人(同0.7%)、福祉に関する学科89人(同0.3%)、その他746人(同2.8%)となっている。

表31 高等学校の学科別生徒数(本科)

(単位：人)

区 分	総 数			公 立					私 立			
				計	全 日 制		定 時 制		計	全 日 制		
	計	男	女		男	女	男	女				
総 数	26,321	13,210	13,111	20,103	9,368	10,735	254	160	6,218	3,588	2,630	
普 通 科	17,783	8,918	8,865	12,482	5,552	6,930	141	124	5,301	3,225	2,076	
職 業 科	農業科	988	624	364	988	624	364	-	-	-	-	-
	工業科	2,303	1,847	456	2,303	1,756	439	91	17	-	-	-
	商業科	1,819	739	1,080	1,381	445	895	22	19	438	272	166
	水産科	179	161	18	179	161	18	-	-	-	-	-
	家庭科	509	68	441	291	5	286	-	-	218	63	155
	看護科	467	39	428	206	11	195	-	-	261	28	233
	情報科	194	123	71	194	123	71	-	-	-	-	-
	福祉科	89	16	73	89	16	73	-	-	-	-	-
	その他	746	259	487	746	259	487	-	-	-	-	-
総合学科	1,244	416	828	1,244	416	828	-	-	-	-	-	

- ④ 外国人生徒数は30人で、前年度より4人増加している。
⑤ 入学状況(本科)をみると、入学志願者数は定時制課程を含め延べ25,106人で、前年度より856人減少している。
⑥ 入学定員(本科)は10,456人で、入学志願者数をこの入学定員数で割った競争率は、2.40倍となっている。内訳は、公立1.39倍、私立4.43倍である。
⑦ 入学者(本科)は8,670人(全日制課程8,557人、定時制課程113人)で、前年度より293人減少している。

(4) 教 員 数 (表 32, 図 18, 19)

- ① 教員数(本務者)は2,145人(公立1,652人、私立493人)で、前年度より21人減少している。
- ② 教員数(本務者)のうち女性教員の占める割合は40.4%で、前年度より0.3ポイント上昇している。また、全国平均は31.9%で、女性教員の占める割合で本県は全国第3位となっている。

表32 高等学校の職名別教員数(本務者)

(単位:人)

区 分	総 数			校 長		副校長		教 頭		主幹教諭		指導教諭		教 諭		助教諭		養護教諭	養護助教諭	講 師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	男	女
平成25年度	2,153	1,327	826	38	4	2	-	90	2	7	2	-	-	1,127	689	1	9	43	11	62	66
26	2,166	1,328	838	39	3	1	-	89	4	7	2	-	-	1,119	692	1	10	43	10	72	74
27	2,187	1,329	858	40	2	3	-	88	5	8	3	-	-	1,118	716	1	10	45	13	71	64
28	2,166	1,297	869	41	1	4	-	86	8	8	2	-	-	1,103	733	2	9	43	17	53	56
29	2,145	1,279	866	39	1	4	-	80	8	9	1	1	-	1,085	736	1	9	44	19	60	48

- ③ 本務教員1人当たりの生徒数は12.4人で、前年度と同数である。なお、全国平均は14.0人となっている。

図 18 高等学校教員(本務者)1人当たり生徒数

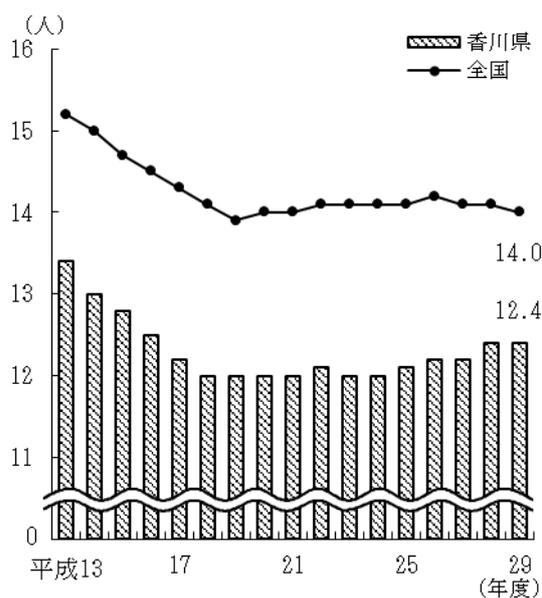
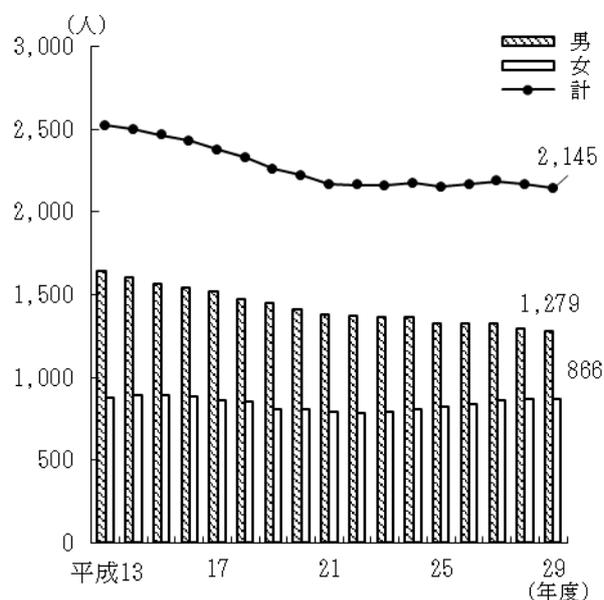


図 19 高等学校教員数(本務者)の推移



(5) 職 員 数 (表 33)

① 職員数（本務者）は443人（公立337人、私立106人）で、前年度より8人減少している。

表33 高等学校の職名別職員数（本務者）

(単位：人)

区 分	総 数			事務職員				学 校 図 書 館 事 務 員		技 術 職 員		実 習 助 手		養 護 職 員	用 務 員		警 備 員 ・ そ の 他	
				主 事 ・ 主 事 補 等		そ の 他												
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	男	女	男	女
平成25年度	461	251	210	56	79	26	41	4	3	6	1	85	70	1	52	7	22	8
26	462	249	213	53	80	25	40	5	4	6	1	84	70	1	52	9	24	8
27	446	239	207	53	78	25	36	5	3	3	1	82	69	-	54	8	17	12
28	451	242	209	52	74	24	39	5	3	3	1	83	70	-	55	13	20	9
29	443	238	205	50	69	24	39	4	4	5	1	84	65	-	54	17	17	10

(6) 高等学校通信制課程

- ① 通信制課程を置く学校は5校であり、普通科のみである。
- ② 学校数を設置者別にみると、公立2校、私立3校（うち独立校2校）となっている。
- ③ 在学者数は842人（男450人、女392人）で、前年度より88人増加（男44人、女44人）している。
- ④ 平成29年度（当該年度）の入学者は244人（男134人、女110人）で、前年度より56人増加（男32人、女24人）している。
平成28年度間（前年度間）の入学者は278人（男146人、女132人）で、平成27年度間（前々年度間）より21人増加（男15人、女6人）している。
- ⑤ 教員数は140人（本務者51人、兼務者89人（校内44人、その他45人））で、前年度より14人増加している。
職員数（本務者）は12人（男5人、女7人）で、前年度より2人増加（男1人、女1人）している。

6 特別支援学校

(1) 学 校 数

- ① 学校数は9校で、新設校及び廃校はなく、前年度と同数である。
- ② 学校数を設置者別にみると、国立1校、県立8校となっており、前年度と同じ構成である。

(2) 学 級 数 (表 34)

- ① 学級数は349学級で、前年度より4学級減少している。

(3) 在 学 者 数 (表 34, 35)

- ① 在学者数は1,170人（男768人、女402人）で、前年度より21人減少している。

表34 特別支援学校の学級数及び在学者数

(単位：学級・人)

区 分	学級数	在 学 者 数			在学者数の推移			
		総数	男	女	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
総 数	349	1,170	768	402	1,122	1,140	1,155	1,191
幼 稚 部	6	23	18	5	18	17	19	20
小 学 部	116	290	188	102	304	302	293	299
中 学 部	100	334	220	114	316	347	358	363
高 等 部	127	523	342	181	484	474	485	509

- ② 障害種別内訳をみると、知的障害が466人（在学者総数の39.8%）、病弱・身体虚弱が56人（同4.8%）、聴覚障害が23人（同2.0%）、視覚障害が14人（同1.2%）、肢体不自由が8人（同0.7%）、その他が603人（同51.5%）となっている。

表35 特別支援学校の障害種別学級数及び在学者数

(単位：学級・人)

区 分	総 数		視覚障害		聴覚障害		知的障害		肢体不自由		病 弱・ 身体虚弱		その他	
	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数
総 数	349	1,170	7	14	13	23	89	466	6	8	14	56	220	603
幼稚部	6	23	-	-	3	10	2	10	-	-	-	-	1	3
小学部	116	290	1	1	5	5	18	46	1	1	4	4	87	233
中学部	100	334	-	-	3	5	29	137	2	2	6	23	60	167
高等部	127	523	6	13	2	3	40	273	3	5	4	29	72	200

注：その他とは、複数の障害種別の組合せである。

(4) 通 学 状 況 (表 36)

- ① 在学者の通学状況をみると、家庭からが1,013人（在学者総数の86.6%）、寄宿舎からが72人（同6.2%）、児童福祉施設からが60人（同5.1%）、国立療養所重心病棟からが15人（同1.3%）、その他の医療機関からが10人（同0.9%）となっている。

表36 特別支援学校の通学状況

(単位：人・%)

区 分	総 数		寄 宿 舎		家 庭 (下宿を含む)		児 童 福 祉 施 設		国 立 療 養 所 重 心 病 棟		そ の 他 の 医 療 機 関	
	通学者数	割合	通学者数	割合	通学者数	割合	通学者数	割合	通学者数	割合	通学者数	割合
総 数	1,170	100.0	72	6.2	1,013	86.6	60	5.1	15	1.3	10	0.9
幼 稚 部	23	100.0	-	-	22	95.7	1	4.3	-	-	-	-
小 学 部	290	100.0	-	-	260	89.7	15	5.2	11	3.8	4	1.4
中 学 部	334	100.0	20	6.0	294	88.0	15	4.5	2	0.6	3	0.9
高 等 部	523	100.0	52	9.9	437	83.6	29	5.5	2	0.4	3	0.6

(5) 教 員 数 (表 37)

- ① 教員数(本務者)は786人(男268人、女518人)で、前年度より5人増加(男4人、女1人)している。
- ② 在学者数を本務教員数で割った本務教員1人当たりの在学者数は1.5人で、前年度と同数である。

表37 特別支援学校の職名別教員数(本務者)

(単位：人)

区 分	総 数			校 長		教 頭		主 幹 教 諭		指 導 教 諭		教 諭		養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	女	男	女
平成25年度	734	252	482	7	1	8	7	-	1	-	-	217	399	11	1	2	20	60
26	757	261	496	6	2	9	6	1	-	-	1	209	402	9	2	3	36	71
27	776	263	513	5	3	10	5	-	1	-	1	208	405	10	4	3	40	81
28	781	264	517	3	5	9	6	-	1	1	-	207	407	11	3	3	44	81
29	786	268	518	3	5	9	6	-	1	1	-	206	411	10	3	3	49	79

(6) 職 員 数 (表 38)

- ① 職員数(本務者)は127人(男44人、女83人)で、前年度より5人減少(男1人、女4人)している。

表38 特別支援学校の職名別職員数(本務者)

(単位：人)

区 分	総 数			負 担 法 に よ る 者						そ の 他 の 者										
				事 務 職 員		寄 宿 舎 指 導 員		学 校 栄 養 職 員		事 務 職 員		実 習 助 手		養 護 職 員 (看護師等)		学 校 栄 養 職 員		学 校 給 食 調 理 従 事 員		用 務 員
	計	男	女	男	女	男	女	女	男	女	男	女	女	女	女	女	男	女	男	女
平成25年度	131	36	95	9	21	8	39	1	-	2	12	8	9	2	9	7	1	-	3	
26	124	40	84	10	20	9	40	-	1	1	13	7	10	2	-	7	1	-	3	
27	127	50	77	11	19	13	35	-	1	1	14	7	9	2	-	10	1	1	3	
28	132	45	87	8	23	12	37	1	1	1	14	7	11	2	-	10	2	-	3	
29	127	44	83	7	22	12	35	1	1	2	15	6	11	2	-	8	2	1	2	

7 専修学校

(1) 学 校 数 (表 39)

- ① 学校数は27校で、新設校及び廃校はなく、前年度と同数である。
- ② 学校数を設置者別にみると、公立1校、私立26校（学校法人立4校、準学校法人立13校、社団法人立3校、その他の法人立4校、個人立2校）となっており、前年度と同じ構成である。
- ③ 類型別にみると、高等課程を置く学校が3校、専門課程を置く学校が26校となっている。

表39 専修学校の設置者別学校数

(単位：校)

区 分	総 数	国 立	公 立 (県立)	私 立				
				学 校 法人立	準学校 法人立	社 団 法人立	その他の 法 人 立	個人立
平成25年度	25	-	1	4	13	3	2	2
26	27	-	1	4	13	3	4	2
27	27	-	1	4	13	3	4	2
28	27	-	1	4	13	3	4	2
29	27	-	1	4	13	3	4	2

(2) 学 科 数 (表 40, 42)

- ① 学科数は86学科で、前年度より4学科増加している。
- ② 課程別にみると、高等課程4学科、専門課程81学科、一般課程1学科となっている。
- ③ 学科別にみると、医療関係21学科(全学科数の24.4%)、文化・教養関係19学科(同22.1%)、教育・社会福祉関係、商業実務関係10学科(同11.6%)、衛生関係9学科(同10.5%)、工業関係、服飾・家政関係8学科(同9.3%)、農業関係1学科(同1.2%)となっている。

表40 専修学校の現況

(単位：学科・人)

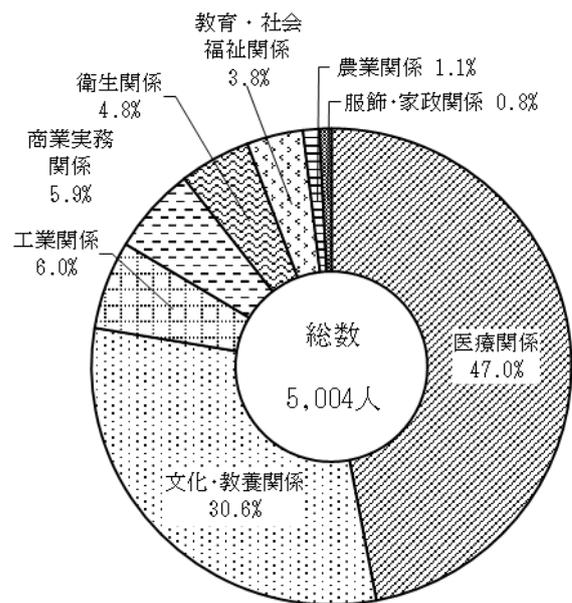
区 分	学 科 数			生 徒 数			教 員 数 (本務者)			職 員 数 (本務者)
	計	昼間	その他	計	男	女	計	男	女	
平成25年度	80	73	7	4,923	2,402	2,521	356	163	193	143
26	80	73	7	4,782	2,219	2,563	372	152	220	148
27	81	73	8	4,940	2,317	2,623	374	152	222	169
28	82	74	8	5,137	2,431	2,706	368	151	217	179
29	86	76	10	5,004	2,294	2,710	384	161	223	178

(3) 生 徒 数 (表 40, 41, 42, 図 20)

- ① 生徒数は5,004人(男2,294人、女2,710人)で、前年度より133人減少(男137人減少、女4人増加)している。
- ② 課程別にみると、高等課程が168人(全生徒数の3.4%)、専門課程が3,755人(同75.0%)、一般課程が1,081人(同21.6%)となっている。

③ 学科別にみると、医療関係2,353人(全生徒数の47.0%)が最も多く、次いで文化・教養関係1,529人(同30.6%)、工業関係300人(同6.0%)、商業実務関係296人(同5.9%)、衛生関係242人(同4.8%)、教育・社会福祉関係190人(同3.8%)、農業関係55人(同1.1%)、服飾・家政関係39人(同0.8%)となっている。

図20 専修学校の学科別生徒数の構成比



④ 男女別・学科別に主なものをみると、男は、文化・教養関係のうち受験・補習754人、医療関係のうち理学・作業療法250人、医療関係のうち看護240人、工業関係のうち情報処理137人が多く、女は、医療関係のうち看護901人、文化・教養関係のうち受験・補習327人、医療関係のうち歯科衛生213人、医療関係のうち理学・作業療法172人が多くなっている。

表41 専修学校の学科別生徒数

(単位：人、()内は%)

区分	総数	医療関係	文化・教養関係	商業実務関係	工業関係	衛生関係	教育・社会福祉関係	農業関係	服飾・家政関係
総数	5,004 (100.0)	2,353 (47.0)	1,529 (30.6)	296 (5.9)	300 (6.0)	242 (4.8)	190 (3.8)	55 (1.1)	39 (0.8)
男	2,294 (100.0)	799 (34.8)	944 (41.2)	89 (3.9)	264 (11.5)	87 (3.8)	64 (2.8)	46 (2.0)	1 (0.0)
女	2,710 (100.0)	1,554 (57.3)	585 (21.6)	207 (7.6)	36 (1.3)	155 (5.7)	126 (4.6)	9 (0.3)	38 (1.4)

⑤ 入学者数(平成29年4月1日から同年5月1日までの入学者)は2,632人(うち就業している者124人)で、前年度より81人減少している。これを課程別にみると、高等課程95人(同48人)、専門課程1,456人(同76人)、一般課程1,081人(同0人)となっている。

また、専門課程入学者のうち、大学等卒業者は71人(大学52人、短期大学14人、高等専門学校5人)となっている。

⑥ 卒業者数(平成28年4月1日から平成29年3月31日までの卒業者)は2,575人(うち就職者1,192人(在学中から引続きその職にある場合を含む。))で、前年度より222人増加している。課程別では、高等課程92人(同72人)、専門課程1,358人(同1,120人)、一般課程1,125人(同0人)となっている。

(4) 教員数及び職員数(表40)

① 教員数は1,378人(本務者384人、兼務者994人)で、前年度より15人増加している。

このうち男が763人(本務者161人、兼務者602人)、女が615人(本務者223人、兼務者392人)となっている。

② 職員数(本務者)は、178人(男71人、女97人)となっている。

表42 専修学校の課程別学科数及び生徒数

(単位：学科・人)

区 分		計		昼 間		そ の 他	
		学科数	生徒数	学科数	生徒数	学科数	生徒数
総 数		86	5,004	76	4,768	10	236
工 業 関 係	専門課程	8	300	8	300	-	-
	土木・建築	1	42	1	42	-	-
	自動車整備	2	103	2	103	-	-
	情報処理	5	155	5	155	-	-
農 業 関 係	専門課程	1	55	1	55	-	-
	農業	1	55	1	55	-	-
医 療 関 係	高等課程	1	146	1	146	-	-
	准看護	1	146	1	146	-	-
	専門課程	20	2,207	17	2,019	3	188
	看護	7	1,141	6	1,017	1	124
	歯科衛生	2	213	2	213	-	-
	歯科技工	1	43	1	43	-	-
	はり・きゅう・あんま	3	193	2	160	1	33
	柔道整復	2	131	1	100	1	31
	理学・作業療法	4	422	4	422	-	-
	その他	1	64	1	64	-	-
衛 生 関 係	高等課程	2	20	1	20	1	-
	調理	2	20	1	20	1	-
	専門課程	7	222	7	222	-	-
	調理	1	50	1	50	-	-
	理容	1	4	1	4	-	-
	美容	3	123	3	123	-	-
	製菓・製パン	2	45	2	45	-	-
教育・社会福祉関係	専門課程	10	190	9	184	1	6
	保育士養成	5	83	4	77	1	6
	介護福祉	5	107	5	107	-	-
商 業 実 務 関 係	専門課程	10	296	10	296	-	-
	商業	1	53	1	53	-	-
	経理・簿記	1	3	1	3	-	-
	経営	1	49	1	49	-	-
	旅行	2	37	2	37	-	-
	情報	1	9	1	9	-	-
	ビジネス	2	98	2	98	-	-
	その他	2	47	2	47	-	-
服 飾 ・ 家 政 関 係	高等課程	1	2	1	2	-	-
	和洋裁	1	2	1	2	-	-
	専門課程	7	37	4	28	3	9
	和洋裁	7	37	4	28	3	9
文 化 ・ 教 養 関 係	専門課程	18	448	16	415	2	33
	デザイン	3	94	3	94	-	-
	動物	3	113	3	113	-	-
	法律行政	2	38	2	38	-	-
	スポーツ	4	33	2	-	2	33
	その他	6	170	6	170	-	-
	一般課程	1	1,081	1	1,081	-	-
受験・補習	1	1,081	1	1,081	-	-	

8 各種学校

(1) 学校数(表43)

- ① 学校数は19校で、前年度より1校減少(廃校1校)している。
 ② 学校数を設置者別にみると、私立19校(社団法人立6校、個人立13校)となっている。

表43 各種学校の設置者別学校数

(単位:校)

区分	計(私立)	準学校法人立	財団法人立	社団法人立	その他の法人立	個人立
平成25年度	28	-	-	6	1	21
26	20	-	-	6	-	14
27	20	-	-	6	-	14
28	20	-	-	6	-	14
29	19	-	-	6	-	13

(2) 課程数

- ① 課程数は12課程で、課程別には准看護が6課程で最も多く、次いで編物・手芸3課程、和洋裁2課程、音楽1課程の順となっている。

(3) 生徒数(表44, 図21)

- ① 生徒数は454人(男54人、女400人)で、前年度より26人減少(男15人、女11人)している。

表44 各種学校の現況

(単位:校・人)

区分	学校数	生徒数						教員数(本務者)			職員数(本務者)
		総数			うち昼間			計	男	女	
		計	男	女	計	男	女				
平成25年度	28	794	141	653	685	102	583	39	2	37	24
26	20	664	122	542	597	122	475	30	2	28	20
27	20	619	117	502	578	100	478	32	2	30	13
28	20	480	69	411	476	69	407	28	1	27	15
29	19	454	54	400	437	54	383	28	1	27	18

- ② 課程別にみると、音楽が210人(全生徒数の46.3%)で最も多く、次いで准看護182人(同40.1%)、編物・手芸52人(同11.5%)の順となっている。

男女別にみると、男は准看護が47人(男子生徒数の87.0%)で最も多く、次いで音楽7人(同13.0%)の順となっている。一方、女は音楽が203人(女子生徒数の50.8%)で最も多く、次いで准看護135人(同33.8%)等の順となっている。

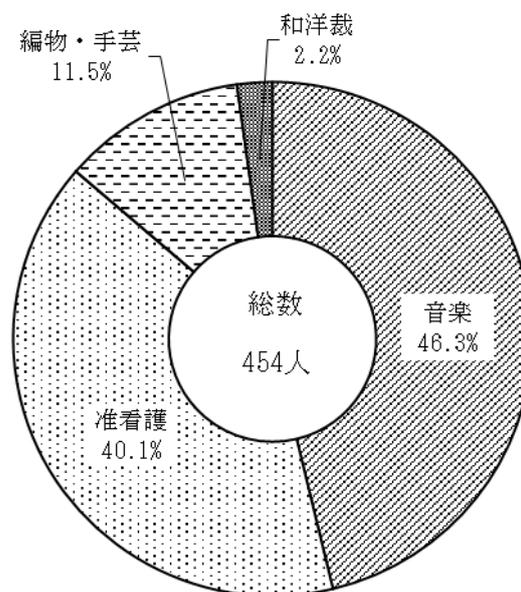
- ③ 修業年限別にみると、「修業年限1年未満の課程」の生徒数は51人(男2人、女49人)で、「修業年限1年以上の課程」の生徒数は403人(男52人、女351人)となっている。

④ 入学者数（平成29年4月1日から同年5月1日まで）は128人で、前年度より8人減少している。

⑤ 卒業者数（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）は117人で、前年度より4人減少している。

また、これを課程別にみると、准看護が92人（全卒業者の78.6%）で最も多く、次いで音楽21人（同17.9%）等の順となっている。

図 21 各種学校の課程別生徒数の構成比



(4) 教員数及び職員数（表 44）

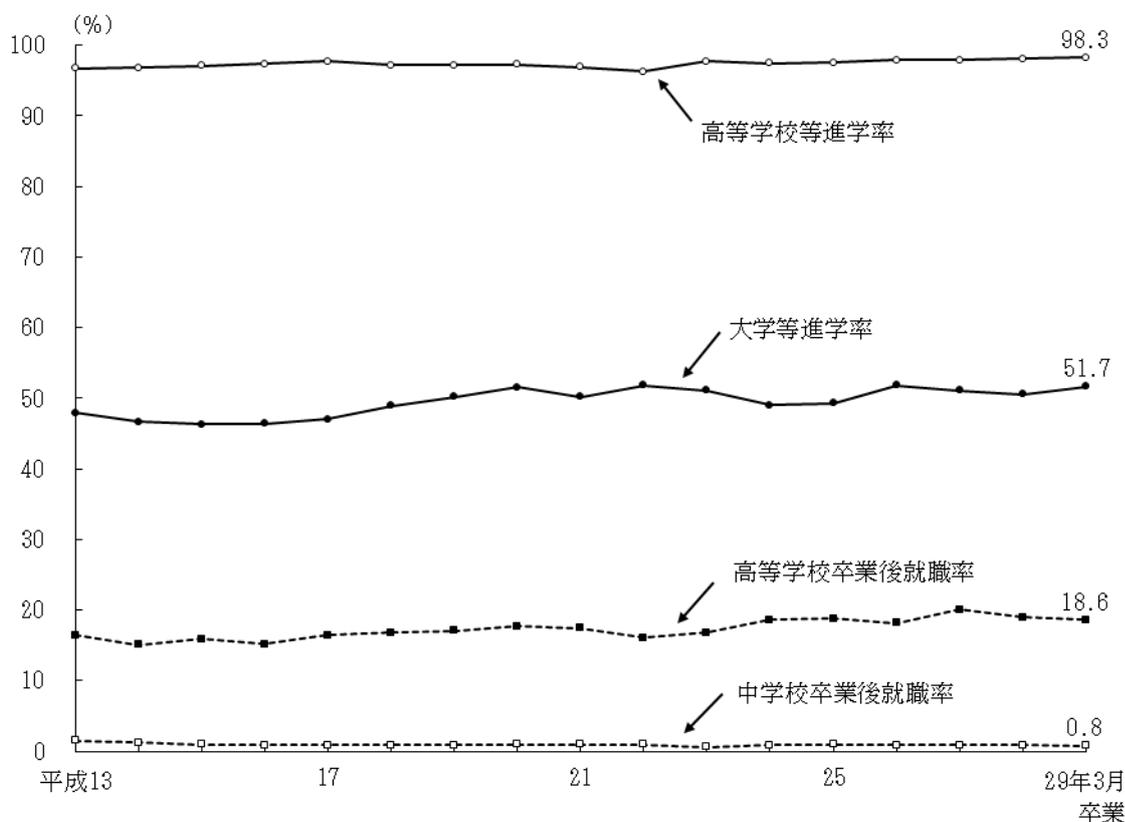
① 教員数は281人（本務者28人、兼務者253人）で、前年度と同数である。

このうち、男が142人（本務者1人、兼務者141人）、女が139人（本務者27人、兼務者112人）となっている。

② 職員数（本務者）は18人（男1人、女17人）で、前年度より3人増加（男1人減少、女4人増加）している。

Ⅱ 卒業後の状況調査

図 22 卒業後の状況の推移（中学校・高等学校）



1 中学校卒業生

(1) 卒業生（表 45, 図 23）

- ① 平成29年3月の中学校卒業生数は9,275人（男4,727人、女4,548人）で、前年度より299人減少（男185人、女114人）している。
- ② 進路別内訳をみると、高等学校等進学者9,115人（卒業生数の98.3%）、専修学校高等課程進学者2人（同0.0%）、専修学校一般課程等入学者1人（同0.0%）、公共職業能力開発施設等入学者6人（同0.1%）、就職者71人（同0.8%）、その他（上記以外の者）80人（同0.9%）となっている。

図 23 中学校卒業後の状況別構成比

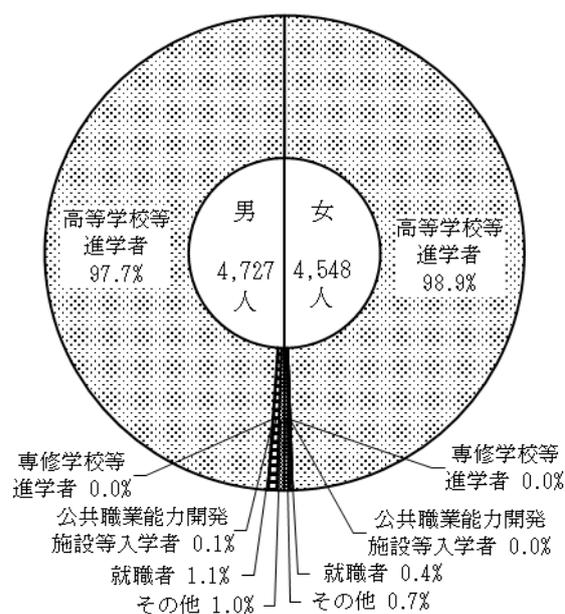


表 45 中学校卒業後の状況

(単位：人)

区 分	卒業生			高等学校等進学者			専修学校等 進学者・入学者			(再 掲)		公共職業能力開 発施設等入学者					
	計	男	女	計	うち就 職して いる者	男	女	計	うち就 職して いる者	男	女	専修学 校高等 課程 進学者	専修学 校一般 課程等 入学者	計	うち就 職して いる者	男	女
平成25年3月	9,440	4,847	4,593	9,214	6	4,690	4,524	7	-	5	2	6	1	3	-	2	1
26	9,652	4,951	4,701	9,449	-	4,800	4,649	5	-	2	3	2	3	6	-	5	1
27	9,563	4,867	4,696	9,362	1	4,735	4,627	10	-	7	3	5	5	4	-	4	-
28	9,574	4,912	4,662	9,393	4	4,786	4,607	7	-	3	4	6	1	6	-	4	2
29	9,275	4,727	4,548	9,115	6	4,619	4,496	3	-	1	2	2	1	6	-	6	-

区 分	就 職 者			左記以外の者		
	計	男	女	計	男	女
平成25年3月	95	76	19	121	74	47
26	90	79	11	102	65	37
27	83	55	28	104	66	38
28	80	60	20	88	59	29
29	71	53	18	80	48	32

注：①「高等学校等進学者」とは、高等学校の本科（全日制、定時制及び通信制）及び別科、中等教育学校後期課程の本科及び別科、高等専門学校、特別支援学校高等部の本科及び別科へ進学した者である。

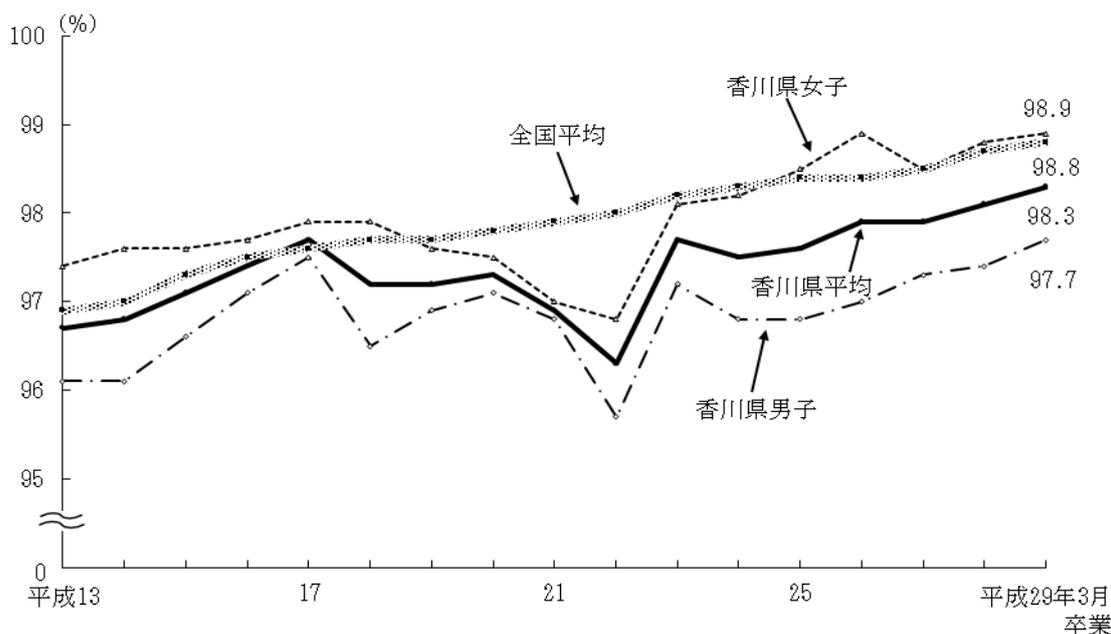
②「専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程又は各種学校へ入学した者である。

③「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校等に入学した者、進路が未定であることが明らかな者、不詳者・死亡である。

(2) 進 学 者 (表 45, 図 24)

- ① 高等学校等進学者（表45注①参照）は9,115人（男4,619人、女4,496人）で、前年度より278人減少（男167人、女111人）している。
- ② 高等学校等進学率は98.3%（男97.7%、女98.9%）で、前年度より0.2ポイント上昇（男0.3ポイント、女0.1ポイント）となっている。
また、全国平均は98.8%で、本県は全国第41位となっている。
- ③ 高等学校等進学者のうち県外への進学者は165人で、同進学者の1.8%となっている。

図 24 中学校卒業者の高等学校等進学率の推移



(3) 就 職 者 (表 45, 図 25, 図 26)

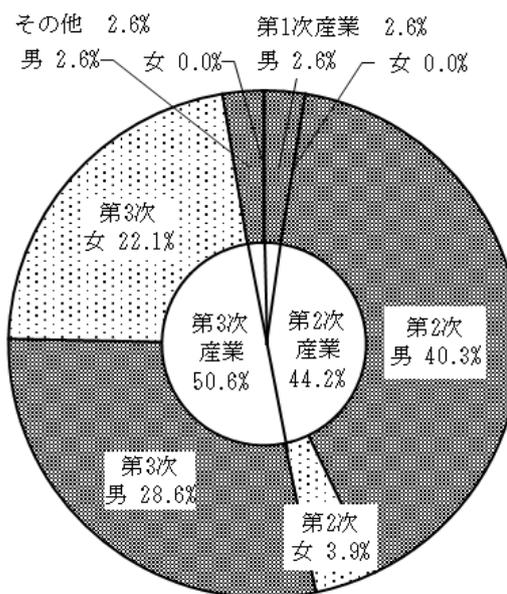
① 就職者71人(男53人、女18人)に高等学校等進学者で就職している者6名(男4人、女2人)を加えた就職者総数は77人(男57人、女20人)で、前年度より7人減少(男6人、女1人)している。

② 就職率は0.8%(男1.2%、女0.4%)で、前年度より0.1ポイント低下(男0.1ポイント、女0.1ポイント)である。

また、全国平均は0.3%で、本県は全国第1位となっている。

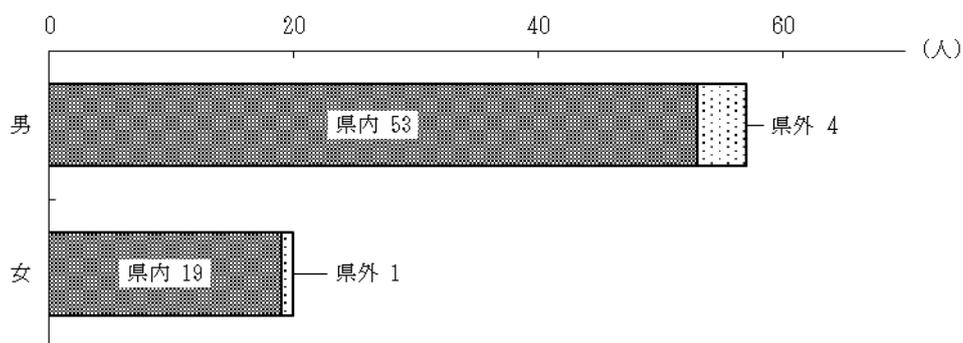
③ 産業部門別にみると、第3次産業(電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、金融業・保険業、不動産業・物品賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業、医療・福祉、複合サービス事業、サービス業(他に分類されないもの)、公務(他に分類されるものを除く))が39人(就職者総数の50.6%)で最も多く、次いで、第2次産業(鉱業・採石業・砂利採取業、建設業、製造業)が34人(同44.2%)、第1次産業(農業・林業、漁業)が2人(同2.6%)、その他が2人(同2.6%)の順となっている。

図 25 中学校卒業者の産業別就職者の構成比



④ 就職先を県内・県外別にみると、県外に就職した者は5人(就職者総数の6.5%)で、前年度より1人減少(男2人増加、女3人減少)している。

図 26 中学校卒業者の県内外別就職者数



2 高等学校卒業者

(1) 卒業者 (表 46, 図 27)

① 平成29年3月の卒業生数は8,662人(男4,345人、女4,317人)で、前年度より125人増加(男9人、女116人)している。

② 進路別内訳をみると、大学等進学者4,475人(卒業生数の51.7%)、専修学校専門課程進学者1,340人(同15.5%)、専修学校一般課程等入学者764人(同8.8%)、公共職業能力開発施設等入学者92人(同1.1%)、就職者1,614人(同18.6%)、一時的な仕事に就いた者29人(同0.3%)、その他(上記以外の者)348人(同4.0%)となっている。

図 27 高等学校卒業後の進路別構成比

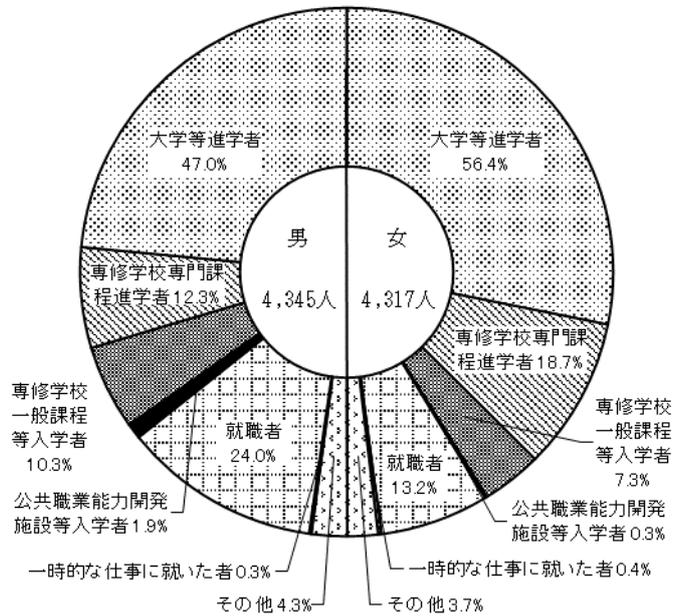


表 46 高等学校卒業後の状況

(単位:人)

区分	卒業生			大学等進学者			専修学校等進学者・入学者			(再掲)		公共職業能力開発施設等入学者						
	計	男	女	計	うち就職している者	男	女	計	うち就職している者	男	女	専修学校専門課程進学者	専修学校一般課程等入学者	計	うち就職している者	男	女	
平成25年3月	8,596	4,288	4,308	4,241	-	1,940	2,301	2,231	1	1,073	1,158	1,552	679	63	-	57	6	
26	8,154	4,013	4,141	4,223	-	1,864	2,359	1,965	-	924	1,041	1,384	581	99	-	85	14	
27	8,263	4,136	4,127	4,226	...	1,930	2,296	1,896	...	872	1,024	1,353	543	93	...	83	10	
28	8,537	4,336	4,201	4,317	...	1,980	2,337	2,057	...	972	1,085	1,414	643	85	...	79	6	
29	8,662	4,345	4,317	4,475	...	2,041	2,434	2,104	...	982	1,122	1,340	764	92	...	81	11	
区分	就職者						一時的な仕事に就いた者			左記以外の者								
	計	うち正規の職員でない者	男	うち正規の職員でない者	女	うち正規の職員でない者	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成25年3月	1,614	...	998	...	616	...	107	32	75	340	188	152						
26	1,487	...	943	...	544	...	94	32	62	286	165	121						
27	1,662	2	1,041	-	621	2	89	37	52	297	173	124						
28	1,624	4	1,073	3	551	1	60	25	35	394	207	187						
29	1,614	3	1,042	2	572	1	29	11	18	348	188	160						

注: ①「大学等進学者」とは、大学(学部)、短期大学(本科)、大学・短期大学の通信教育部(正規の課程)及び放送大学(全科履修生)、大学・短期大学(別科)、高等学校(専攻科)及び特別支援学校高等部(専攻科)へ進学した者である。

②「専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程又は各種学校へ入学した者である。

③「就職者」のうち、「うち正規の職員等でない者」とは、雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が40~30時間の者であり、平成27年度から調査している。

④「一時的な仕事に就いた者」とは、アルバイト・パート等で臨時的な収入を得る仕事に就いた者であり、平成16年度から調査している。

⑤「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者、進路が未定であることが明らかな者、不詳・死亡者である。

(2) 進 学 者 (表 47, 図 28)

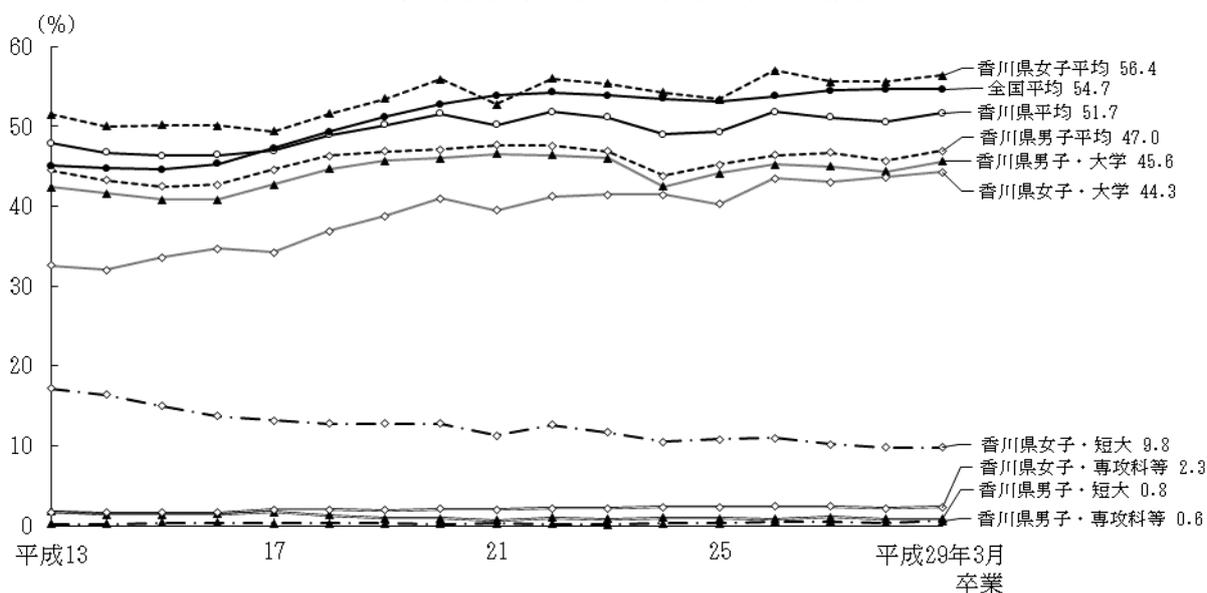
- ① 大学等進学者（表 46 注①参照）は 4,475 人（男 2,041 人、女 2,434 人）で、前年度より 158 人増加（男 61 人、女 97 人）している。
- ② 現役進学率（全卒業生数のうち大学等進学者の占める割合）は 51.7%（男 47.0%、女 56.4%）で、前年度より 1.1 ポイント上昇（男 1.3 ポイント、女 0.8 ポイント）している。
また、全国平均は 54.7% で、本県は全国第 23 位となっている。
- ③ 大学等進学者を進学先別にみると、大学（学部）が 3,897 人（進学者数の 87.1%）、次いで短期大学（本科）456 人（同 10.2%）、高等学校専攻科等 122 人（同 2.7%）となっている。
- ④ 大学（学部）・短期大学（本科）への志願者数は 5,222 人（男 2,565 人、女 2,657 人）で、前年度より 227 人増加（男 92 人、女 135 人）している。
- ⑤ 大学（学部）への志願者数は 4,761 人（男 2,529 人、女 2,232 人）で、男が 53.1% を占めている。
- ⑥ 短期大学（本科）への志願者数は 461 人（男 36 人、女 425 人）で、女が 92.2% を占めている。
- ⑦ 志願率（全卒業生数に対する大学（学部）及び短期大学（本科）への志願者の占める割合）は 60.3%（男 59.0%、女 61.5%）となっている。

表 47 進学者内訳の推移

(単位：人)

区 分	計	大学（学部）	短期大学（本科）	専攻科・その他
平成25年3月	4,241	3,627	502	112
26	4,223	3,617	487	119
27	4,226	3,637	469	120
28	4,317	3,763	445	109
29	4,475	3,897	456	122
内 訳 男	2,041	1,983	34	24
女	2,434	1,914	422	98

図 28 高等学校卒業生の大学等進学率の推移



(3) 専修学校専門課程進学者・一般課程等入学者 (表 48)

- ① 専修学校専門課程進学者数は1,340人(男533人、女807人)で、前年度より74人減少(男19人、女55人)している。
- ② 専修学校一般課程等入学者数は764人(男449人、女315人)で、このうち専修学校(一般課程・高等課程)入学者401人(男215人、女186人)、各種学校入学者363人(男234人、女129人)となっている。
- また、公共職業能力開発施設等入学者は92人(男81人、女11人)となっている。
- ③ 全卒業者数のうち専修学校専門課程進学者数、同一般課程等入学者数及び公共職業能力開発施設等入学者数の占める割合は25.4%で、前年度より0.3ポイント上昇している。

表48 専修学校専門課程進学者・専修学校一般課程等入学者数

(単位：人)

区 分	総 数			専修学校専門課程進 学 者			専修学校一般課程等入学者						公 共 職 業 能 力 開 発 施 設 等 入 学 者		
							専 修 学 校 一 般 課 程 ・ 高 等 課 程			各 種 学 校					
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成25年3月	2,294	1,130	1,164	1,552	632	920	290	184	106	389	257	132	63	57	6
26	2,064	1,009	1,055	1,384	556	828	234	140	94	347	228	119	99	85	14
27	1,989	955	1,034	1,353	529	824	248	153	95	295	190	105	93	83	10
28	2,142	1,051	1,091	1,414	552	862	283	180	103	360	240	120	85	79	6
29	2,196	1,063	1,133	1,340	533	807	401	215	186	363	234	129	92	81	11

(4) 就 職 者 (表 46, 図 29, 30)

- ① 就職者は1,614人(男1,042人、女572人)で、大学等進学者、専修学校専門課程進学者・一般課程等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうちに就職している者はいなかったため、就職者総数は就職者と同数で、前年度より11人減少(男31人減少、女20人増加)している。
- ② 就職率(全卒業者数のうち就職者総数の占める割合)は18.6%(男24.0%、女13.2%)で、前年度より0.4ポイント低下(男0.7ポイント低下、女0.1ポイント上昇)している。
- また、全国平均は17.8%で、本県は全国第32位となっている。
- ③ 産業部門別にみると、第2次産業が828人(就職者総数の51.3%)で最も多く、次いで第3次産業766人(同47.5%)、第1次産業19人(同1.2%)、その他1人(同0.1%)となっている。
- ④ 職業別にみると、生産工程従事者が634人(就職者総数の39.3%)で最も多く、次いでサービス職業従事者246人(同15.2%)、事務従事者157人(同9.7%)の順となっている。これを男女別にみると、男は生産工程従事者519人(男子就職者総数の49.8%)、専門的・技術的職業従事者116人(同11.1%)、保安職業従事者89人(同8.5%)等の順になっている。女はサービス職業従事者166人(女子就職者総数の29.0%)、事務従事者138人(同24.1%)、生産工程従事者115人(同20.1%)等の順になっている。

図29 高等学校卒業者の産業別就職者構成比

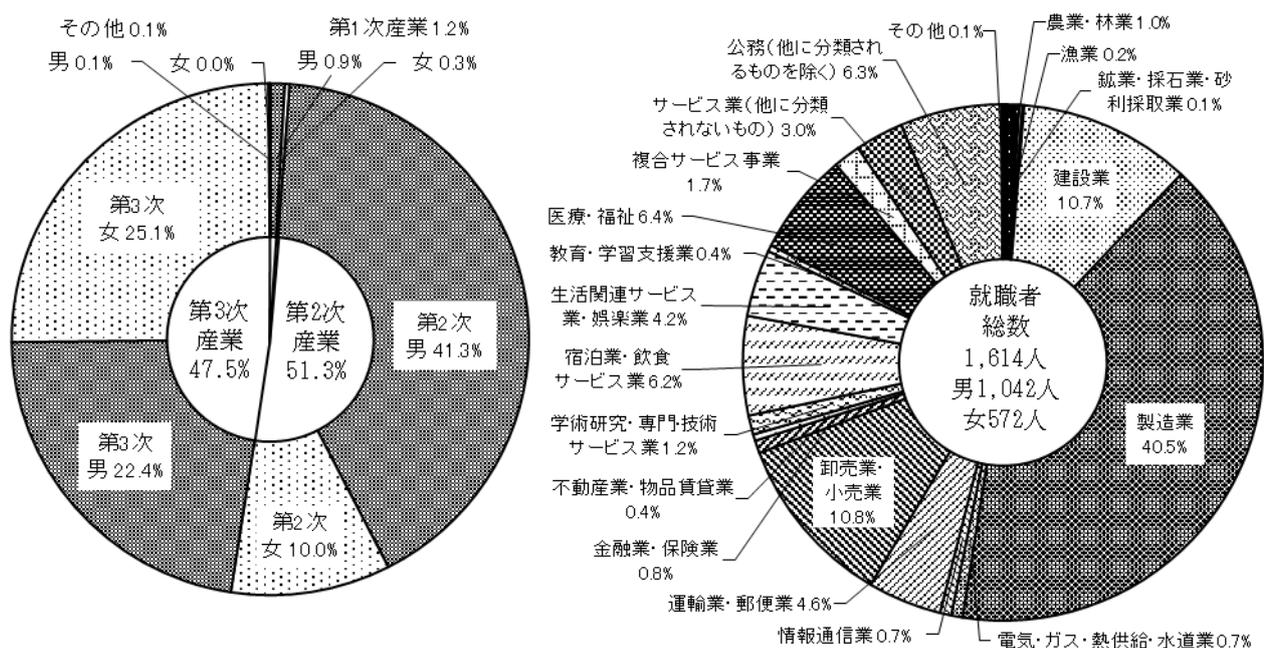
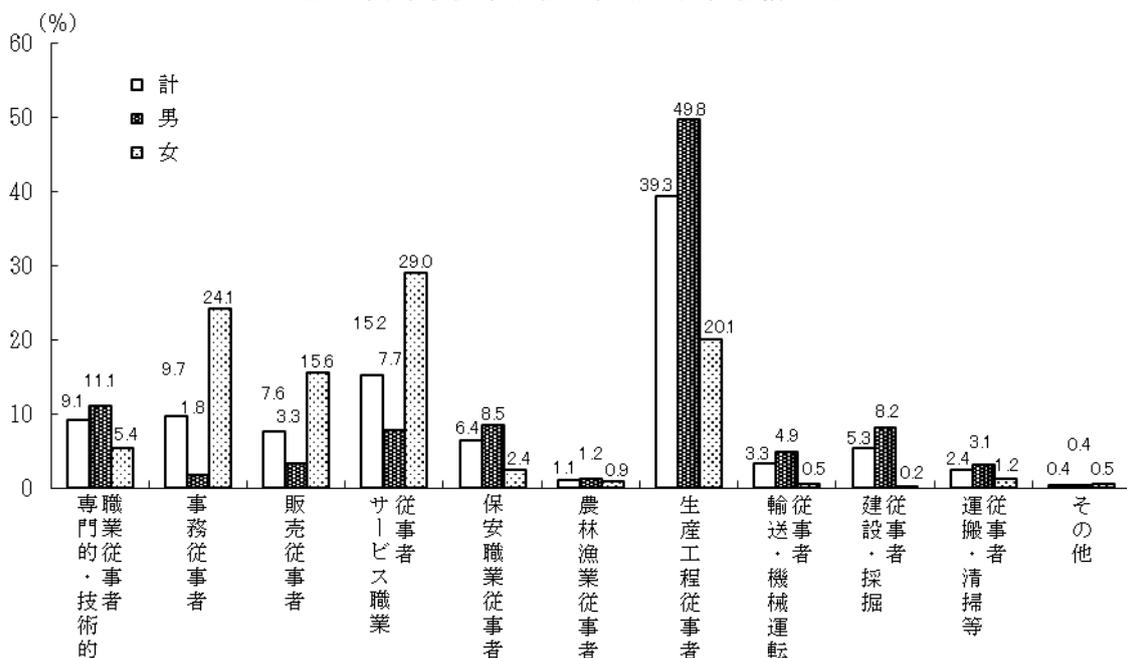


図30 高等学校卒業者の職業別就職者構成比



⑤ 就職先を県内・県外別にみると、県内就職者が1,426人(就職者総数の88.4%)、県外就職者188人(同11.6%)となり、前年度より県内就職者の割合が0.2ポイント上昇している。

⑥ 県外就職先を都道府県別にみると、大阪府が34人(県外就職者総数の18.1%)で最も多く、次いで愛媛県28人(同14.9%)、東京都23人(同12.2%)等の順になっている。

男女別にみると、男が150人(県外就職者総数の79.8%)、女が38人(同20.2%)で、前年度に比べ男が4人減少し、女が同数である。

3 特別支援学校（中学部・高等部）卒業生

(1) 中 学 部 (表 49)

- ① 平成 29 年 3 月の特別支援学校中学部の卒業生数は、138 人（男 84 人、女 54 人）で、前年度より 29 人増加（男 6 人、女 23 人）している。
- ② 卒業生のうち高等学校等進学者数は、136 人（特別支援学校中学部卒業生の 98.6%）となっている。

表49 特別支援学校（中学部）卒業後の状況

(単位：人)

区 分	卒業生数			高等学校等進学者			専修学校等進学者・入学者			就職者			左記以外の者			高等学校等進学率 (%)	就職率 (%)
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		
計	138	84	54	136	84	52	-	-	-	-	-	-	2	-	2	98.6	-
視覚障害	3	2	1	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
聴覚障害	3	1	2	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
知的障害	105	69	36	104	69	35	-	-	-	-	-	-	1	-	1	99.0	-
肢体不自由	13	7	6	13	7	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
病弱・身体虚弱	14	5	9	13	5	8	-	-	-	-	-	-	1	-	1	92.9	-

(2) 高 等 部 (表 50)

- ① 平成 29 年 3 月の特別支援学校高等部の卒業生数は、160 人（男 99 人、女 61 人）で、前年度より 7 人増加（男 6 人、女 1 人）している。
- ② 卒業生のうち大学等進学者数は、5 人（特別支援学校高等部卒業生の 3.1%）となっている。
- ③ 卒業生のうち就職者数は、50 人（特別支援学校高等部卒業生の 31.3%）となっている。

表50 特別支援学校（高等部）卒業後の状況

(単位：人)

区 分	卒業生数			大学等進学者			専修学校専門課程進学者			専修学校一般課程等入学者			公共職業能力開発施設等入学者			就職者			左記以外の者			大学等進学率 (%)	就職率 (%)
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		
計	160	99	61	5	1	4	1	-	1	2	1	1	1	-	1	50	39	11	101	58	43	3.1	31.3
視覚障害	5	2	3	2	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	1	1	-	40.0	20.0
聴覚障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
知的障害	133	84	49	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	44	36	8	88	47	41	-	33.1
肢体不自由	8	6	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	5	1	25.0	-
病弱・身体虚弱	14	7	7	1	-	1	1	-	1	1	-	1	-	-	-	5	2	3	6	5	1	7.1	35.7

Ⅲ 不就学学齡児童生徒調査

1 就学免除者（表51）

就学免除者は、学齡児童（6～11歳）1人、学齡生徒（12～14歳）0人となっている。

2 就学猶予者（表51）

就学猶予者は、学齡児童、学齡生徒とも0人となっている。

3 1年以上居所不明者及び死亡者（表51）

1年以上居所不明者は、学齡児童1人、学齡生徒0人となっている。

また、平成28年度間に死亡した学齡児童は1人、学齡生徒は0人となっている。

表51 就学免除者・猶予者・居所不明者及び死亡者数の推移

（単位：人）

区 分	就学免除者			就学猶予者			1年以上居所不明者			死亡者（前年度間）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成25年度	-	-	-	3	2	1	2	1	1	7	4	3
26	-	-	-	2	1	1	1	-	1	5	2	3
27	1	1	-	-	-	-	-	-	-	5	4	1
28	1	1	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1
29	1	1	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1